



レーザースキャンしたリアライズスタジオ



レーザースキャンしたトライアルファクトリ

学校だより

CONTENTS

巻頭言 群馬高専を旅立つ皆さんへ／校長 三谷 卓也	2
特集＜第 58 回卒業式・第 28 回専攻科修了式を迎えて＞	
卒業生・修了生に贈る言葉	2
各科卒業にあたり	4
専攻科修了にあたり	14
各科卒業研究一覧	16
専攻科特別研究一覧	21
教職員からはなむけの言葉	22
退任挨拶	24
NEWS&TOPICS	25

第131号

2024.3.12 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
 National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)

群馬高専を旅立つ皆さんへ

校長 三谷 卓也

卒業生・修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

5年間、または7年間の群馬高専での生活はいかがでしたか？日々色々な体験をしたことと思います。この体験を視点を変えて、統計的な面から見てみましょう。

国立高専全体の本科5年生は9,126人(令和5年5月1日現在。以下同じ)、群馬高専は193人ですので、全体に占める割合は2.1%です。専攻科2年生も、国立高専全体では1,484人、群馬高専が36人ですので、同じく2.4%です。

これが、全国の同年代全体になると、5年生にあたる20歳人口が約115万人、22歳人口が約124万人ですので、群馬高専の5年生・専攻科2年生の占める割合は、それぞれ0.017%と0.003%という極々わずかな人数であり、ゲーム風に言えば、皆さんはSR(スーパーレア)どころかUR(ウルトラレア)以上の存在ということになります。

さらには、このようなURな存在である皆さんの群馬高専での経験もまた皆さんしか持っていないURなものだと思います。ぜひ、群馬高専での経験を大切にしてください。

これからの新たなステージにおいて、色々なことが皆さんを待ち受けていることでしょう。しかし、同世代の人が経験することができないURな経験を通して成長したURな存在である自分を信じて臆することなくチャレンジし続け、さらにいろいろな経験を積み重ねていくことでより一層成長し、活躍されることをお祈りしています。



特集 第58回卒業式・第28回修了式を迎えて

卒業おめでとう！

教務主事 辻 和秀

群馬高専を巣立つ皆さん、卒業おめでとうございます。群馬高専で過ごした時間は、何かを学び、何かに熱中し、悩み、迷い、そしてめがいた時間だったかもしれません。途中でコロナ禍の影響を強く受け、様々な行事は中止され、学びの機会も残念ながら例年通りとはならない時期がありました。入学当時、コロナ禍はもちろん、今の社会の様子や世界の状況を全く予想できなかったと思います。変化のスピードはとどまらず、これからも社会はどんどん変化していくでしょう。卒業後も、学ぶべき事はたくさんあるでしょう。また、学びの機会となる経験や出会いもたくさんあるでしょう。卒業生の皆さんには、そんな時にそこから学ぶ力がついていると信じています。群馬高専での様々な経験は、皆さんを驚くほど成長させているはずです。自信をもってこれから活躍してください。

卒業・修了おめでとうございます

学生主事 櫻岡 広

5年生および専攻科2年生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

今年度初めの学校だより(第129号)で新入生に向けて「知る」と「分かる」について、作家の大江健三郎さんの定義を紹介しました。改めて紹介すると『「知る」から「分かる」に進むと、自分で知識を使いこなせるようになる』と。

さて、皆さんはこの5年・7年間でどれだけの知識を得たでしょう。恐らく、入学時には想像できなかったくらい、多くの知識をこの学校で得てくれたことと思います。この学校で「知った」知識をこれから、「分かる」に進化させて使いこなしていった下さい。でも、その過程で新しい知識を「知る」必要も出てくるでしょう。そう考えると、「勉強」というのは進学・就職に関係なく、一生続くものなのだと思えます。

これから先も皆さんのそれぞれの進路で多くの知識を得てそれを使いこなせるように頑張ってください。最後に、皆さんのこれからの人生が幸多からんことを祈念いたします。

困難を乗り越えていく力

寮務主事 佐々木 信雄

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様、心よりお祝い申し上げます。思えば皆さんは新型コロナウイルスが流行する中、いろいろと窮屈な経験をしてきたと思います。今年度はようやく授業でもマスクを外す姿が増えて来ました。工華祭も以前のような賑わいを取り戻し、入場制限無しの卒業式や、ここ数年中止となっていた後援会主催の祝賀会も開催できる運びとなり、喜ばしい限りです。

一方、ここ数年で確実に変わったこともあります。テレワークは職種にもよりますが、確実に増えています。また、生成AIの急速な普及で、消えていく仕事もあると言われています。しかしながら、皆さんが群馬高専で身に着けた知識や技術は、世の中が変化していっても、決して無駄にはなりません。困難に直面したとき、それを乗り越えていける力となってくれるでしょう。

最後になりますが、皆様のさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

後援会会長 吉田 涼子

卒業生・修了生の皆様、卒業・修了おめでとうございます!!!

保護者の皆様におかれましても、感慨深い思いで旅立ちの日を迎えられたことと存じます。5年間、7年間という長い間、後援会活動にご理解・ご協力を賜りましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生・修了生の皆さん、群馬高専で学んだ5年間、7年間の日々はどんなものだったでしょうか。コロナ禍で突然休校になりオンライン授業が始まって慌てたこと、それでもやってくる年4回の試験(再試との戦いもあったかもしれませんね。)、難しい実験と研究そして山のようなレポートや課題に追われて泣いたこと、部活動やクラスで出会った楽しい友人たち・先輩後輩に囲まれてたくさん笑ったこと…今、皆さんが過ごしてきた日々を振り返っている瞬間に「ふふっ」と笑顔がこぼれていたらいいな、と思います。

これからの長い長い人生で、15歳という少年・少女の時期から20～22歳の立派な大人に成長されるまでの大切に貴重な時間を、この群馬高専で過ごしたこと、きっと何にも代えがたい皆さんの支えになってくれると思います。

今後は『群馬高専OB&OG』のひとりとして誇りを持ち、それぞれの人生のステージで輝いていってください。これからも後援会一同、皆さんの益々のご活躍を期待し続け、応援し続けます!!

常に目標を持って

同窓会会長 細谷 功

本科卒業生及び専攻科修了生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。皆さんは高専時代の数年間を新型コロナウイルスの影響で、通常とは違う状況下で学び、試験、研究、就職活動等に取り組んできた事と思われます。この厳しい状況を乗り越えて、卒業という目標を達成出来た事は大きな経験を得たことと思います。今後、皆さんは専攻科や大学へ進む人、社会人となる人とそれぞれの道を進んでいくわけですが、今までこの高専で学んだ事を基礎としてより専門的な技術の習得や自身で不足している知識の習得に日々努め、よりレベルの高い技術者を目指して頑張ってください。

今後の日本は、高齢化や少子化が急速に進展し、労働者人口が減少する厳しい社会の中で皆さんは働いていかなければならない状況です。そこで、是非自分自身の目標を持つ事をお薦めします。社会人としては会社より業務目標が与えられますが、それとは別に自身の人生目標を立て、常に考慮し行動することです。又、目標は状況によっては見直し、変更していくことも必要です。是非、悔いのない人生が送れるよう常に目標を立て、頑張ってください。最後に卒業生諸君の健康と今後の活躍を期待します。

自分の中の可能性を信じて

学生会会長 3K 中村 悠世

ご卒業おめでとうございます！長い道のりだったと思いますが、ここまで来ることが出来たのも、皆さんの努力と忍耐の賜物です。心からお祝い申し上げます。これから先の人生は、未知の領域ですが、自信を持って進んで行ってください。この先、困難や試練も多いと思いますが、きっと大丈夫です。なぜなら、これまでの様々な苦難を皆さんが乗り越えてきたと思うからです。その強さと勇気があれば、どんな困難も乗り越えることができます。

喜びや達成感を感じる一方で、新たな環境に対する不安や緊張もあると思います。しかし、自分自身に自信を持ち、自らの可能性を信じて頑張ってください。そして、それぞれの道を自分らしく輝いて進んでいってください。

最後に、皆さんはそれぞれ素晴らしい才能と可能性を持っていると信じています。自分の夢や目標に向かって努力し続けてください。これからの人生がより一層輝かしいものとなることを心からお祈りしています。



トコトン楽しみましょう

機械工学科 5年 担任 山内 啓

5年機械工学科のみなさん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様方にも心よりお祝い申し上げます。私の拙いクラス運営を温かく見守って頂き大変感謝しております。3年生から正担任として一緒に歩み、36名で卒業を迎えます。今、卒業研究発表を終えて、緩やかに卒業へ向けて進んでいるところであります。

3年生スタート時は、コロナ禍真っ只中で将来の目標もぼんやりしていた学生が多かったですが、2年をかけて4年生末の3者or4者面談で明確となり、5年生で進学・就職を勝ち取っていききましたね。自分たちで決めた目標に向けて自ら取り組んでいく姿を見てきましたが、よくやっていました。希望を叶えた学生、叶わなかった学生それぞれいましたが、挑戦することや置かれた場所で咲くことの大切さを学んでくれれば、今後の生活に必ず役立つことでしょう。常にポジティブな気持ちでチャレンジして欲しいと思います。

4年の設計製図では、計画通り進めることができていましたか？そして、1年後の卒業研究ではどうだったでしょうか？放課後、土日も当たり前という世の中ではなくはなっていますが、自分たちはどうだったでしょうか？試験前のように直前にスケジュールを詰め込んでいなかったでしょうか？自ら計画を立てて計画通り実行することの難しさをかみしめているひとも多いかもしれません。慣れていなければ作業効率は悪いですし、うまくいかないことも多々あるでしょう。しかし、これらを効率が悪いから割に合わないとか片してしまったり、自身の成長はないでしょう。勉強も受験や就職試験も同じで、一定のレベルを超えるとどれだけ時間を溶かしたかが重要になって

くと思われれます。こんな贅沢な時間の使い方は学生時代しかできません。もう一度、自分のこの一年を振り返ってただけ情熱を注いだのかを思い返して欲しいです。このような経験が自分の能力や経験を培っていくでしょう。進学先や就職先では、これから今の自分に満足せず、より良い自分を目指してください。苦難もあるかと思いますが、人生を楽しんで少しずつ進んで欲しいです。

就職する卒業生と進学する卒業生へ 大学では高専とは異なる雰囲気でしょう。いち早く生活に慣れている人なことを話せる同期・友人を作りましょう。そして、早く自分の身を自分で守る術を身につけてください。そして、自分の好きなこと・勉強・研究などをトコトン追求してください。新しい環境は、今までの環境と大きく異なるものでしょう。今までの経験にとらわれることなく、新しい価値観・環境を受け入れてください。頑にならず、素直に周りの言葉を聞き入れることも大切なことです。ただし、危険なときは逃げましょう、『逃げるは恥だが役に立つ』です。

専攻科へ進む卒業生へ 2年間を自分にとって良いものとするのも、無為なものとするのも自分次第です。色々な経験をして将来直接・間接的に役に立つ能力を獲得してから、就職・大学院への進学をしてほしいです。

最後に、君たちが幸多き人生を歩むことを願っています。ただ、立ち止まることがあったら、ぜひ母校である群馬高専を訪れてください。初心を思い出すこともできるでしょうし、積もる話もきかせてほしいです。もちろん、近況報告も大歓迎です。

ウフフ、輝いてますわよ♡
(先に右の母の文章からお読みください)

機械工学科 5年
徳留 歩夢

「こんなに大変って知ってたら、入学しなかった」確かにこれは何回も思いましたね。3年、4年、5年と学年が上がることに実習や実験、レポートに試験加えて、受験さらには卒業研究とまあ常に達成すべきノルマが両肩に重くのしかかっているわけです。これに加えてバイトや部活も頑張っているそこのあなた。あなたももう立派なスーパーマルチタスク高専マンです。おめでとう。僕もそうでした。

そしてこれだけやるべきことが多いと当然普通の学校よりも留年したり苦しい思いをするリスクは高いでしょう。ですが安心してください。このスーパーハイリスクハイリターンな学校は苦勞したこと以上に得たものも計り知れません。勉強面でも母の言う通りたくさんありますが、愛すべき素晴らしい友、後輩、先輩とたくさん出会い刺激的で情熱的でFantasticな日常を送ることができました。本当に幸せな5年間でした。みんなありがとう！

最後になりますが、5年になるまで優しい目で見守ってくださった山内先生、矢口先生並びに数多くの先生方、本当にありがとうございました。

来年から僕は宇都宮です。もし訪れることがあればお会いしましょう。それじゃあ、みんな、また逢う日まで！バイバイ！

気づいていますか？
あなたの目、輝いていますよ！

機械工学科 5年
徳留 貴美子

「こんなに大変って知っていたら、入学しなかった！」5年生の冬、息子に言われた。「確かに!!」私は大笑いして答えた。

テスト前、寝ずに勉強しても赤点・再試・留年というプレッシャーと常に隣り合わせだった。文系の私からすると暗号にしか見えない息子のノートを見ると、この5年間で学んだことは想像以上のものだと思える。

あの言葉が本気なのか冗談なのか定かではないが、親から見た息子の高専生活はとても充実しているように見えた。部活にバイト、ヘアカラーにピアスと高専の自由な校風を謳歌していた。そんな楽しそうな兄の姿を見てか、弟も迷わず高専への入学を決め楽しそうに通っている。

息子が中3の時、高校見学会に行った際、私立の建物はきれいで明るい印象だった。一方高専は地味な印象。しかし、学生の目は高専生が一番キラキラしていた。自分たちが何を学んでいるか説明している姿は自信に満ち溢れていた。卒業生、鏡を見てください。絶対に輝いています！

高専の先生方の高い専門性とマニアックな知識、そして寛容さに心より感謝申し上げます。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進 学

群馬高専専攻科 生産システム工学専攻 (7)
宇都宮大学 工学部 基盤工学科 機械システム工学コース
群馬大学 理工学部 物質・環境類 材料科学コース
群馬大学 理工学部 電子・機械類 機械コース (3)
千葉大学 工学部 総合工学科 機械工学コース
東京工業大学 工学院 機械系 (2)
東京農工大学 工学部 機械システム工学科ロボティクス・知能機械デザインコース
東京都立大学 システムデザイン学部 航空宇宙システム工学科
新潟大学 工学部 機械システム工学プログラム
長岡技術科学大学 機械工学分野 (5)
金沢大学 理工学域 機械工学類機械数理コース

就 職

DMG 森精機株式会社 積水化学工業株式会社 (2)
株式会社 JAL エンジニアリング 川崎汽船株式会社
株式会社 JR 東日本メカトロサービス 株式会社総合車両製作所
ソフトバンク株式会社 田中貴金属グループ
三菱電機株式会社





将来の活躍を願って

電子メディア工学科 5年 担任 塚原 規志

電子メディア工学科5年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。3年次より担任を受け持ちましたが、私自身、初めての担任であったため、至らぬ点多々あったと思います。私は2019年4月に群馬高専の教員として着任しましたが、皆様も同年入学されました。また私が1、2年生の実験実習を分担していたこともあって、他学年と比べればやや親近感が強かった、というのが正直なところです。

皆様が過ごされた5年間で、特に影響が大きかった事として、新型コロナウイルスの影響が世界的に広まったことが挙げられます。皆様は、2年次に授業がオンライン化されるなど、これまでにない変化を経験しました。オンライン授業は、教員が直接学生を容易に確認できない環境で行われます。学習に対する自発的なモチベーションが求められました。その上、高専大会や研修旅行などの課外活動が中止されました。オンライン環境で挫折しかけたなど厳しい経験であったと感じる人が少なからずいたと思います。

しかし、皆様がこれを経験したことは良かったのではないかと私は考えています。コロナ禍は少しずつ収

まっていき、授業は1年弱で教室で実施できるようになりました。それと共に、様々なことが少しずつデジタル化されていきました。置かれた環境に応じた変化を若いうちに経験することは、今後必ず役に立つ時が来るでしょう。

皆様は5年次に就職や大学編入と、卒業後の進路を決めました。どちらであっても、自身の専門的な知識をより高め、最終的にはそれでお金を稼ぐこととなります。私自身は専門が物理化学分野で、電子メディアでの習得分野とは異なるため、皆様の進路に関して良いアドバイスはできなかったと思います。しかし、皆様がそれぞれに目標を定めて進路を決めていく様子を見て、卒業後も心配ないと確信しています。もちろん、社会は決して皆様全員に寛容ではありません。自身の置かれた状況に応じた努力をすることで、社会に受け入れられるかどうかのラインに立てると 생각합니다。このことだけは忘れないようにしてください。

最後に、皆様が卒業するまでに、教職員や保護者など、様々な人に支えられてきたことを考えて高専生活を完遂させて下さい。皆様の将来の活躍を願っています。

シェイプオブマイハート

電子メディア工学科 5年
八木 延周

群馬高専での学生生活は、新たな学びと友情に満ちた貴重な5年間でした。授業では実践的なスキルを身につける中で、将来のキャリアに対する自信が芽生えました。定期試験や実験では、クラスメイトとの協力が不可欠でした。緊張感あふれる試験期間は赤点ラインに立ち向かい、自分の限界を超える瞬間が多かったです。困難に立ち向かいながらも共に努力し成果を上げることで、友達との絆が深まりました。

学外では、文化祭や体育祭などのイベントが毎年開催され、学生たちは一丸となって盛り上げました。特に文化祭では、ステージ企画のコスプレコンテストやバンド演奏は見る人の心を動かす力がありました。友情や協力の結晶として、これらのイベントが楽しい思い出となり、学校生活をより充実させてくれました。

最後に、卒業が迫って感慨深い思いがこみ上げ、遠くに進学していく友達や3学年から同じ教室で勉学を共にしたクラスメイトとの別れが辛いですが、築いた人間関係が私の成長の礎となっていくことを確信しています。

保護者より

「あの群馬高専」

電子メディア工学科 5年
渡邊 謙太郎さんの保護者
渡邊 博美

君が、2年生のある日の朝のこと。
「遅刻する！体育の単位に響く！お願い！車で送って」
大慌てで学校まで送ったよね。
「単位」これを、とても意識してやってきたよね。
昼まで寝て、夜どおし勉強とか、ちょっと特殊な勉強法でしたが、無事卒業する事ができましたね。おめでとう。
しかし、
あの日の朝、体育の授業に間に合った君の背中を、車の中から見送りながら母は思いました。
「息子よ。それ、中学の体操着だが、大丈夫なのかい？」
でもね、失敗した経験が多ければ多い程、その分、成功への道のりを知ります。
「できる、できない。やりたくない。」ではなく、
「どうしたらできるか、どこまでならできるか」と生きて欲しいです。
不安な世界情勢の世の中で、これから先、たくさんの困難や壁にぶつかるでしょう。
あせらずに、1個ずつ乗り越えれば、それが必ず、君の大きな成長になります。
どうしても、つらくなった時は、私を頼って下さい。
その時に備えて、一杯食べとくから、
ちょっとやそっとでは、ビクともしません。(^ω^)
人生は、皆平等に「あっ！」という間に過ぎ、気付いたら年老いてます。
「どのように、生きるか？」は、あの群馬高専を卒業する、君に任せます。
最強の味方より

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム専攻 (7)
宇都宮大学工学部基盤工学科情報電子オプティクスコース
群馬大学理工学部電子・機械類 (4)
電気通信大学情報工学科II類
東京都市大学理工学部電気電子通信工学科
新潟大学理学部物理学プログラム
新潟大学工学部知能情報システムプログラム
富山大学工学部電気電子工学コース
金沢大学理工学域
豊橋技術科学大学工学部電気・電子情報工学過程
九州大学工学部電気情報工学科

就職

アルメックス (USEN-NEXT グループ) 日立ハイシステム 21
半導体エネルギー研究所 (2) 日本たばこ産業
三菱電機エンジニアリング マイナビ Edge
アマゾンジャパン (3)
TBS アクト
JAL エンジニアリング
太陽誘電





つぎのステージへのハードルを越えて

電子情報工学科 5年 担任 **雑賀 洋平**

この学校だよりが発行される頃には、電子情報工学科を卒業する5年生たちは、きつとつぎのステージに向けた準備で希望に胸をふくらませていることと思います。入学式のあの日から今日まで、思いおこせば、色々な選択とそれに伴う課題へのチャレンジの繰り返しだったのではないのでしょうか。「学生」として遇されるようになったその日から、多くのことが自由に選べるようになった一方で、普段の授業だけにとどまらず、進級・卒業するために、多くのハードルが設けられていたことに気づくと思いますし、また、これらのハードルを立派に乗り越えてきたのだと思います。

例えば、4年の大規模実験では、皆さんはグループのメンバーとともに、やってみたい課題を決め、これに果敢にチャレンジしていました。忙しいスケジュールのなか、「テーマ概要」、「仕様検討書」、「実験仕様書・工程表」、「中間報告書」、などの過程を経て、オリジナリティにあふれる製作を成し遂げ、発表会では自信に満ちた姿で作品を披露していた様子が印象に残っています。とても立派でした。

卒業研究の研究室配属を決める際にも、一人ひとりに重要な決断があったことと思います。どの研究室を希望するのか、自分でよく考えたり、クラスメートと相談したりして決めたことでしょう。研究室を決めてからは、指導教員と話し合いながら、色々な研究活動にチャレンジしたのだと思います。卒業研究発表会での皆さんの発表は、一様に立派なものでした。

それから、5年では、本当の意味での進路選択について直面した皆さんは、一人ひとりの方法で、この課題を乗り越えようとしていた様子が思い出されます。編入学試験、就職面接など、眼前の課題に立ち向かう姿は強く印象に残っています。

また、5年の工華祭での出し物「Haunted House」は5Jの総力を結集したものでとても秀逸でした。

最後に、多くのハードルを乗り越えた皆さんは、これから出会う課題を乗り越えるために必要な、確かな力を身につけることができたのではないかと信じています。これからのさらなる皆さんの活躍を楽しみにしています。

5年間お疲れさまでした

電子情報工学科 5年
水野 哲郎

皆さんは、どうして高専に進学したのでしょうか。僕は、プログラミングに興味があった、みたいな、浅はかな理由で高専を選んでしまいました。白状すると、卒業後の進路も同じような軽薄さで選んでしまっています。ですから、下した選択が本当に正しかったのか、常に迷っています。

皆さんはどうですか。実のところ、僕と同じような人が多いのではないのでしょうか。

自分の選択に自信がないなんて、普通のことなのだと思います。もちろん、自己実現のために目的をもって選択をするのがベストです。でも、そんなことは普通できません。だからどこかで割り切って、手探りのまま進んでいくしかないのだと思います。腑抜けた考えかもしれないけれど、気を張りすぎて辛くなるのは本末転倒です。自分のペースで歩んでいけばいいのだと思います。

改めて、5年間お疲れさまでした。皆さんがそれぞれの進路で、皆さんなりに満足する結果にたどり着けることを願っています。

保護者より

自分を信じて

電子情報工学科 5年
水野哲郎さんの保護者
水野 要子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

息子から、高専という選択肢があり、自分はそこに行きたいと告げられた時の驚きは今でも鮮明に覚えています。

皆さんも、専門的に勉強することをわずか15歳で決断し、意気揚々とその門をくぐったのではないのでしょうか。

選んだ道は、ただ楽しいだけの道ではなかったかもしれません。

しかし、皆さんが5年間、積み重ねてきた努力や経験は、今後、直面する様々な事柄に対して、冷静に思考し、着実に問題を解決していくことができる大きな力となっているはずです。

時には、道を見失い、立ち止まってしまう事もあるかもしれませんが。そんな時は、高専で、どれだけの努力をし、たくさんの知識を得て、経験を積んできたのかを思い出し、自信をもって、ゆっくりと前に進んで行って下さい。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

群馬工業高等専門学校 専攻科生産システム工学専攻 (7)
奈良工業高等専門学校 専攻科システム創成工学専攻
北海道大学 工学部情報エレクトロニクス学科
北見工業大学 工学部地域未来デザイン工学科
山形大学 工学部情報・エレクトロニクス学科
筑波大学 情報学群情報科学類
群馬大学 情報学部情報学科・計算機科学プログラム
東京農工大学 工学部知能情報システム工学科
東京都立大学 システムデザイン学部情報科学科
山梨大学 工学部コンピュータ理工学科 (3)
新潟大学 工学部人間支援感性科学プログラム
京都大学 工学部情報科学数理工学コース
奈良女子大学 工学部工学科
広島大学 情報科学部情報科学科
香川大学 創造工学部造形・メディアデザインコース
研究生 (3)

就職

NTT東日本グループ (3)
アマゾンジャパン合同会社
クラウドエース株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ
株式会社コミュニケーションビジ
ネスアヴェニュー
株式会社ユニオントラスト
株式会社日本デジタル研究所
株式会社日立アドバンストシステム
東芝ITサービス株式会社
東京ガスネットワーク株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
独立行政法人国立印刷局
日本原子力発電株式会社
富士電機株式会社
京セラコミュニケーションシステム株式会社
就職先未定
帰国





1%の貴重な人財に願いを込めて

物質工学科 5年 担任 齋藤 雅和

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては心よりお祝い申し上げます。この5年間ではコロナの世界的大流行により日常が変わり、終息の見通しが立たない辛い時期がありましたが、耐え忍び、支え合い、励まし、乗り越えこの日を迎えられたことを大変うれしく思います。そして、そんな学生達を自身も不安を感じながらも絶えずご支援をいただきました保護者の皆様にも影の功労者として深く感謝申し上げます。

さて、高専での5年間は楽しめましたでしょうか。私がこのクラスの担任となったのは3年生からでしたが、コロナ禍だったこともあり互いに距離があったことを覚えています。球技大会でのフットサル優勝を契機としてイベント毎にクラスがまとまっていき、4年生での社会見学旅行ではUSJやホテルでのエレガントな朝食を皆で満喫でき楽しい思い出をつくることができました。また、4年生後期の試験は総合点の1～2点で順位が2～3位変動する熾烈の争いがあり、当事者は大変だったかと思いますが、その結果、5年生ではほとんどの学生がほぼ希望通りの進路に決まり、とても嬉しく思います。

高専出身者は同年代でも1%程度しかない稀有な

存在であり、創立60周年を超えた今でも社会認知度が低いですが、求人数は常に高く、ここ数年においては採用を強化する企業が増加しています。これはひとえにこれまでの諸先輩方のご活躍があつてこそですが、1%程度しかない早期技術者教育を受けた高専生には他の99%の人では持ち得ない経験と閃きがあり、新しい価値を生み出す原動力になると大いに期待されていることも含まれています。是非とも1%の価値を存分に発揮し豊かな未来を築いて欲しいと思います。

そして巣立ちを迎えた本日、卒業式で皆の名前を呼び、私の役は終えます。苦楽をともにした仲間と陰から支え励ましてくれた保護者との思い出、そして高専5年間で培った知識と経験が卒業する皆様の礎となり、高く飛翔することを期待して笑顔で見送りたいと思います。また、もしも将来、苦しいことが起きて前に進めなくなった時は群馬高専での5年間を振り返ってください。きっと自分が頑張っていたことや仲間や保護者が自分を支えてくれたことに気付き、自分を取り戻して前に進めるようになると思います。

皆様のこれからのご活躍を期待しています。

あつという間の5年間

物質工学科 5年
金子 夕姫

真っ白な白衣を着てレポートの書き方もわからないままろうそくの燃焼実験をしていた私たちは、今ではスーツを着て自分の研究内容を発表できるようになりました。

振り返ってみると、5年間楽しいことも辛いこともたくさんありました。工華祭や社会見学旅行などの学校行事、難しい授業を教えてもらって理解できたときの嬉しさ、レポートが終わらず徹夜を覚悟した日、コロナの影響でのオンライン授業、放課後の友人とのくだらない話。思い返すと、どんな出来事もすべて大切な思い出です。

そして、そんな大切な思い出が作れたのは周りの環境に恵まれていたからだと思います。自分で選んだ道だからと常に応援してくれた家族やたくさん迷惑をかけても最後まで優しく指導してくださった先生方、近くで支えてくれた先輩、後輩、友人たち、本当にお世話になりました。青春が詰まった、充実した5年間をありがとうございました！

保護者より

「大切な出会いに感謝」

物質工学科 5年
諸田実紗希さんの保護者
諸田 裕子

ご卒業おめでとうございます。

高専生活で親としてできたことは、日々の学校生活の話を聞くことくらいだったように思います。昨年専攻科を卒業した娘とこの度本科卒業の娘は、部活の話や、授業の中で先生がお話されていた進路の話をよくしていました。私は家で話を黙って聞いているだけでしたが、親身になって学生の事を考えてくださっている先生方にはいつも感謝しておりました。

5年間の高専生活の中で得た、かけがえのない経験や、苦楽を共にした友人たち。これからの人生を切り開くために、たくさんの武器を手に入れたと思います。自信を持ち、胸を張って、新しい一歩を踏み出してください。自分で選んだ道をどのように生きるかが大切だと思います。皆さんの今後のご活躍をお祈りしています。

最後に、娘にとって大切な出会いに携わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

群馬高専専攻科環境工学専攻 (14)
北海道大学工学部応用マテリアル工学コース
帯広畜産大学畜産科学課程環境生態学ユニット
室蘭工業大学理工学部化学生物システムコース (2)
東京工業大学理学院物理学系
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
東京海洋大学海洋生命科学部食品生産科学科
東京農工大学工学部生命工学科
東京都立大学都市環境学部環境応用化学科
東京理科大学理学部二部化学科
新潟大学農学部農学科応用生命科学プログラム
長岡技術科学大学工学課程物質生物工学分野 (2)
金沢大学理工学域物質化学類
静岡大学農学部応用生命科学科
大阪公立大学工学部化学工学科
研究生
進学希望

就職

第一三共バイオテック株式会社 日本化学産業株式会社
カルビー株式会社 東亜石油株式会社
株式会社レゾナック JX 金属株式会社
株式会社吉野工業所





見る前に跳べ！！

環境都市工学科 5年 担任 **森田 年一**

ついに卒業のときを迎えました。間際まで、卒業が危ぶまれていた学生もいたため、卒業することが出来て、本当におめでとうございます。

3年前に、このクラスの担任になってからのことを改めて振り返ると、様々な出来事が思い起こされます。3年生ではユニフォームを揃えての球技大会や規模を縮小しながらの工華祭開催、4年生では復活した修学旅行(留年生は、ある意味ラッキー)や最後の最後で魅せた(?)体育祭のリレーなどが、鮮明な記憶として残っています。4年生の夏休みにはインターンシップがあり、その後の就職活動・受験勉強(希望先により、内定・合格の時期に差異はあったものの、全員が順調(多くの学生が第一希望の所)に、進路を決めてくれました)、5年生に上がってからは卒業研究など、振り返れば様々な出来事がありましたが、あっという間の3年間であったように感じています。

ここで、この先も遙か長い人生を歩んでゆく皆さんに、この原稿の題名にもした言葉を贈ります。私が二十歳であった時代に比べれば、皆さんは正に情報過多の時代に生きています。指一本で様々な情報が得られる便利な時代である一方で、何か事を起こそうとする前に、自分でも処理しきれないくらいの情報に埋もれ、どのような行動を起こせば良いのかわからなくなったという経験をした人もいます。しかし、インターネットの情報は、必ずしも万人に共通なものではありません。

自分にとって正しいのかも不明確な情報に「必要以上に」怯えて、適切な行動を起こせないのであれば、これ以上、残念なことはありません。また、何らの経験も無しに得る情報よりは、自らの体験に基づいて得られた情報の方が、自分にとって有益であるのは言うまでもありません。人生において、試行錯誤を重ねることは必要なことですし、それが無いと人として成長しません。この先、膨大な情報に埋もれて起こすべき行動がわからなくなった時でも、行動を起こすべき時には『見る前に跳べ!!』の精神で、物事に果敢にチャレンジしてください。それが出来るようになると皆さんの人生もより良きものとなるでしょう。

私にとっては5クラス目の学級担任でしたが、5回目の今回も「やっぱり担任はいいなあ!」という思いで、卒業式を迎えられそうです。このような思いで、3年間という時間を皆さんと共有できたことに、心から感謝します。どうもありがとう。

一方で、私自身は、これまでに担任として受け持った卒業生との経験から「学生との付き合いは卒業してからが本番」と考えています。卒業しても在学時と変わらず、困りごと・相談ごと(進学予定者の2年後・4年後に向けた進路相談、就職予定者の転職相談(笑)含む)があれば、いつでも連絡ください。皆さんが社会で、真に独り立ちできるようになるまで、私は皆さんを応援します。

初志貫徹

環境都市工学科 5年
佐竹 海聖

気づけばもう卒業の春。私たちはこの5年間で何を学び大人になったのだろうか。一番は「忍耐力」ではないかと思う。幾度となくテスト・レポートに追われ一夜漬けを経験したり、毎日何かしらの課題に追われ皆が「辛い」「高専なんて...」なんて言っていた日々は今となっては昔のように思える。そんなことを言いながらもどこか楽しいこのクラスは球技大会といった行事には本気で、最後まで手を抜かない。そのスタイルが今のこのクラスの強い絆を作り上げた。このみんなのどこまでもやり切る力は社会でも非常に役に立つことだろう。またC科は分野が広いことから様々な道があり、全国各地で違った方向から予測していなかった再会もあるかもしれない。その時にはさらに一回りも二回りも大きくなって古き良き友人と談笑できることを願っています。そして長きにわたりサポートしてくださった教職員の方々、保護者の方々への感謝と共に、これからの道を歩んでいきます。

保護者より

AIを超えてゆけ!

環境都市工学科 5年
田中陸桜さんの保護者
田中 賢次

子供達を教育・指導して下さった先生方、職員の皆様、寮や食堂関係者の皆様、心より感謝申し上げます。

卒業生諸君、15歳で高専の環境都市工学科という、尖った選択をし、希望を胸に入学したかと思います。充実した学生生活は送れましたか。コロナ禍で同級生とはマスク越しにしか会話もできず、時にリモート学習となり、孤独にさいなまれることも少なくなかったかと思います。

君達が生まれて以降、東日本大震災や能登半島地震など100年に一度と言われるような大震災が何度も発生し、ゲリラ豪雨や線状降水帯なる言葉をよく耳にするように気候は激甚化し、大災害の無い年はありません。また時代はコロナ禍を経てテレワークやリモート学習が当たり前となり、生成AIが世の中を席巻し、既にシンギュラリティやデジタルネイチャーの時代が到来したとも言われています。

こんな激動の時代の中、友人達と学業に切磋琢磨した日々、部活や同好会で先輩後輩との絆を深めた日々、学力と引き替えに髪を金髪に染め社会勉強に力を入れ過ぎ赤点や留年に怯えた日々、そんな君達の過ごした高専での日々のディープラーニングを通して、環境都市工学の唯一無二のパイオニアとして育った君達が、社会に出て困難に負けず、AIに負けず、たくみいみじく強き人となり、益々活躍することを期待します。そして、よりよい日本を造り、たとえ自然災害により街が破壊され、道が分断されようとも何度でも何度でも日本を復興してくれると僕は信じます。

さあ、AIを超えてゆけ。どんな困難も笑って超えてゆけ。君達ならできる。卒業おめでとう。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (5)
宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科
群馬大学理工学部物質・環境類
千葉大学工学部総合工学科都市工学コース
大正大学仏教学部仏教学科宗学コース
新潟大学工学部工学科社会基盤工学プログラム (2)
長岡技術科学大学工学課程環境社会基盤工学分野 (6)
豊橋技術科学大学工学部建築・都市システム学課程 (3)
九州大学工学部土木工学科

就 職

群馬県
長野県
独立行政法人水資源機構 (2)
電源開発株式会社
東京水道株式会社
西武鉄道株式会社
株式会社アイ・ディー・エー
東亜建設工業株式会社
応用地質株式会社
鹿島建設株式会社
大成建設株式会社
株式会社NIPPO
オリエンタル白石株式会社





仕事を早く片付ける

専攻科長 大墳 聡

専攻科修了生のみなさん、修了おめでとうございます。ここには、贈る言葉を書くことになっています。昨年、普段心掛けていて、みなさんにも役立ちそうなことを思い浮かべたところ、「仕事を早く片付ける」と「人に読んでもらえる文章を書く」でした。昨年は、結局提出がギリギリになってしまい（早く片付けられず）「人に読んでもらえる文章を書く」にしました。原稿依頼から締め切りまで2週間はあったのですが、『書かなくては、でもやる気にならないなあ...』とモヤモヤしながら過ごしていて、ギリギリになって書いた記憶があります。

もう20年くらい前になりますが、共同研究の声掛けをしてくださった先生は、(学会発表の)原稿の仕上げが早かったです。遅くとも提出期限の10日くらい前には投稿されていました。そのために2か月前には原稿の構成を決めて情報共有を始めるし、その原稿のネタになった打合せや実験結果の概要などはその日のうちにまとめて共同研究者間で情報共有されていました。

期限よりかなり前にできてしまえば、やらなくてというモヤモヤから解放されますし、何かあって修正という

場合も余裕を持って対処できます。期限ギリギリだと、間に合わせるのが最優先で内容は不十分なんてこともありえますよね。「仕事を早く片付ける」は、すごくお勧めです。

とはいうものの、いろいろやることがあって、それぞれに期限があって、期限に間に合わせていくのがやっという人もいるのでしょうか。仕事が舞い込んで来たとき、他の仕事もあり期限までにじっくりやろうと考えて「積んで」しまっていないですか。そしてモヤモヤしつつ、期限直前にやっつけ仕事になってたりして...

専攻科長になってから仕事は一段と増えましたが、すぐにできることは積まずに片付ける、すぐにはできないことはいつまでにやるかその場で自分としての期限を決め、Googleカレンダーでリマインダーを残し、積まずに対処するようにしています。

ちなみに今回は、依頼があったその週末に第1稿をつくり、それから5回修正して、期限の4日前には提出できました。提出までのモヤモヤ感は少なかったです。

高専生活を終えて

環境工学専攻 2年

白崎 圭祐

時の流れは早いとはよく言われますが、高専に入学してから7年経った今、まさしくその通りだと改めて感じています。しかし、それはそのように感じるほどには暇でなく、充実した7年間だったことの裏返しなのだと思います。現に、私たちは、7年間味わった高専生活を通じて人間的にも学問的にも大きく価値観が変化したことでしょう。例えば、私は、入学当初は変な人ばかりと思っていた同学年の人らも、今では大切な仲間と認識しています。

私たちはこれから卒業し、それぞれの進路を歩むことになります。その先でそれぞれの困難や苦悩を乗り越え、また楽しみを見つけて過ごすうちに、気づいたら数十年経っているなんてこともあるかもしれません。しかし、どれほど時間が経ち、価値観が変化しようとも、高専で過ごした時間はかけがえのないものに変わりはないと思っています。

最後になりますが、卒業まで見守りご指導して下さいました先生方や両親、共に努力した仲間、そして自分自身の頑張りにより感謝申し上げます。

保護者より

「打たれ強さ」を武器に新たな世界へ

生産システム工学専攻 2年
齊藤 創さんの保護者

齊藤 かおる

専攻科修了生の皆様、修了おめでとうございます。これまで指導していただいた教員の皆様、ありがとうございました。

入学から7年間の高専生活を見守ってきました。7年間、授業、課題、試験を一定のレベルで維持し続けながら、進級されてきたことは本当に大変だったと思います。保護者は文字どおり見守ることしかできない7年間でした。

私は、仕事をしていく上で最も必要なのは「打たれ強い」ということだと思っています。

誰でもミスやトラブルがなく日々仕事をしていきたいと思っても、必ず問題が発生して、時には注意されたり、謝ったりしなければいけないことがあります。そんな時に、高専で身に付けた強い精神力が役に立ちます。技術者としての高水準の知識にプラスして、困難に直面した時に気持ちを切り替えて前に進む「打たれ強さ」を持っていれば、必ず壁を乗り越えていけるはずです。新たな世界での活躍を心より願っています。

修了生進路一覧

※()内は人数

進学

北海道大学大学院 工学院 環境フィールド工学専攻
東北大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻
東北大学大学院 工学研究科 化学工学専攻
東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 (2)
東北大学大学院 農学研究科 生物生産科学専攻 動物生命科学講座 動物生殖科学分野
筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 知能機能システム学位プログラム (2)
筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 生物資源科学学位プログラム
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 生命科学研究系 メディカル情報生命専攻 メディカルサイエンス群
東京工業大学大学院 工学院 機械系
東京工業大学大学院 工学院 電気電子系
東京工業大学大学院 工学院 情報通信系
横浜国立大学大学院 理工学府 化学・生命系理工学専攻 先端化学ユニット エネルギー化学教育分野
総合研究大学院大学 先端学術院先端学術専攻 素粒子原子核コース
新潟大学大学院 自然科学研究科 環境科学専攻 フィールド科学コース
長岡技術科学大学大学院 工学研究科 工学専攻 機械工学分野
名古屋大学大学院 工学研究科 マテリアル工学系 物質プロセス工学専攻
京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻

就職

大阪公立大学大学院 工学研究科 物質化学系生命系専攻 応用化学分野
奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域 (3)
九州大学大学院 総合理工学府 総合理工学専攻 I 類
進学希望

東京電力ホールディングス株式会社 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
株式会社TBS アクト シミックCMO 株式会社
アイ・システム株式会社 信越化学工業株式会社
アイリスオーヤマ株式会社 関東電化工業株式会社
NTT 東日本グループ会社<エンジニア>
株式会社ファインディックス



学 生 氏 名		卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
安 達	柊 慈	測色計を用いた熱処理によるAC4B合金表面の色調に関する定量的評価	山 内
蟻 川	竣 介	射出成形におけるPLA樹脂の材料強度特性に及ぼす熱履歴の影響	黒瀬・高山
飯 島	優 空	改質水を用いたTi-6Al-4V合金の加工性評価	山 内
石 渡	遙	熔融塩腐食におよぼす灰成分におけるNa/K比の影響	山 内
市 川	治 輝	Knudsenポンプに関する分子動力学シミュレーション	矢 口
井 上	永 遠	薄型リアクションホイールによる超小型衛星の姿勢制御に関する研究	平 社
今 泉	圭 悟	焙煎中のコーヒー豆内部の温度変化	花 井
岡 山	千 紘	Sn-Bi合金のm値測定とm値に及ぼす金属組織の影響	山 内
小此木	悠 希	回転するナノ液滴と蒸気の気液二相系に関する分子動力学的研究	矢 口
苅 谷	拓 海	4ストロークガソリン機構におけるプレチャンバプラグの形状変化による性能評価	花 井
川 島	大 幹	Al鑄造材の残留応力測定に影響を及ぼす要因の検討	黒瀬・高山
絹 川	大 輔	位置制御と力制御を最適融合したバイラテラルシステムに関する研究	平 社
後 藤	隆 将	超精密ステージの軽量化に関する研究	樋 口
小 林	和 人	最大感度Msの幾何学的関係を用いたPID ^α D補償器の派生法に関する研究	平 間
小 林	草 太	ステンレス鋼の汎用大型旋盤加工におけるドライ加工時の応力分布	黒瀬・高山
齋 藤	雅 紀	機械学習を用いた残塩濃度制御システムに関する研究	平 間
佐 藤	真 樹	風レンズと小型垂直軸型風車を用いた風力発電に向けた風車位置の検討	矢 口
塩 原	翔 太	狭帯域におけるコンベックスアンテナの特性に関する実験的研究	平 社
鈴 木	来 威	ソーラーモジュールによる温湿度測定用子機の連続駆動に関する研究	檜 本
関 口	天 真	温室データのモニタリングシステムの開発	檜 本
関 口	隼 人	LoRa通信を用いた遠距離通信用子機の開発	檜 本
高 田	日菜乃	イタリア製バーナーを用いた燃焼騒音と排ガス特性の改善	花 井
高 橋	陽 翔	FRIT法を用いたPIDパラメータ調整補助ツールの作成に関する研究	平 間
高 橋	優 斗	インプロセス計測手法における干渉縞に及ぼす測定表面の影響	樋 口
立 脇	拓	非整数階微積分を用いたクレーンの振れ止め制御に関する研究	平 間
鶴 間	楽 人	コーヒー豆の焙煎釜形状と成分評価について	花 井
勅使川原	快	衝撃荷重によるねじゆりみ過程の観察	檜 本
徳 留	步 夢	蛍光ペンの内部及びペン先における水輸送に関する実験的検討	矢 口
渡根木	海	粉塵爆発における乱れ強さの存在が爆発特性に及ぼす影響	花 井
永 島	璃 子	汎用LDを用いた外部共振型レーザ光源の試作	樋 口
西 村	航 輝	通電テスターピンヘッドの成形形状に及ぼす材料特性の影響	黒瀬・高山
古 崎	友 暉	縦型高速双ロールAl鑄造材の表面光沢・非光沢と組織の関係	黒瀬・高山
宮 原	航 汰	コンベックス材を用いた超小型衛星用八木アンテナシステムの試作研究	平 社
柳 原	知 佳	CFRPの熱間プレス成形における半球ブランク形状の影響	黒瀬・高山
山 菅	昇 悟	熱交換器のUFB含有冷媒における熱交換効率の影響	黒瀬・高山
渡 邊	将 斗	Stokes近似を用いたリンバ管内の流れに対する理論解析	矢 口

学 生 氏 名		卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
荒 関	華 音	追尾式太陽光発電システムの追尾プログラムの制作	中 山
押 切	凱 男	幾何学的探究`折り紙版領域選択ゲームの考案`	清 水
小 野	楓	簡単な量子系のエネルギー固有状態生成	大 嶋
川 田	涼太郎	脳波情報の取得とデータ処理に関する研究	松 本
河 内	悠 真	2成分ダークエネルギーモデルによる加速膨張宇宙の検討	渡邊(悠)
川 鍋	歩	Power Automateを用いた体重管理アプリの開発	布施川
木 暮	祥 吾	再構成可能な回路素子の外部制御に関する研究	松 本
岸	知 輝	量子ホール効果での電極からのキャリア注入位置の実験的測定	平 井
小金澤	然	STMを用いたCu(111)表面の表面状態に関する研究	塚 原
小 林	俊 也	レーザ可視光通信のための振幅検出回路の開発	佐々木
小 松	洸 太	高位合成に基づく回路設計に関する研究	松 本
佐久間	伊 織	自動車用イグニッションコイルを用いた放電楽器の製作	市村(和)
清 水	拓 磨	コンクリートレダにおけるプリエンファシスフィルタの製作	富 澤
鈴 木	真 悠	STM探針作製のための電解研磨装置の構築	塚 原
須 田	新 大	コンクリートレダアプリケーションへの高精細画像処理の導入	富 澤
関	千 優	ArduinoとLCDによる周波数表示機能実現に向けた諸学習	五十嵐
関 根	惇 貴	CNNを用いた心理分析AIの作成と学習モデルの最適化	布施川
瀬 下	りろい	相互作用するダークエネルギーとダークマターモデルの検討	渡邊(悠)
竹 本	杏	追尾式太陽光発電システムの効率的追尾方式の検討	中 山
多 田	幸之佑	バンデグラフ起電機の摩擦低減と帯電量の数値化	市村(和)
舘 林	大 登	周波数合成型発振器の構成に向けた諸検討	五十嵐
田 村	潤 哉	リーマン予想の関数等式	清 水
茶 野	純 一	追尾式太陽光発電システムの効率的追尾方式の検討	中 山
友 永	真 葵	追尾式太陽光発電システムの追尾プログラムの制作	中 山
根 岸	賞 丞	コンクリートレダにおけるデータ及び位置情報取得インターフェースの製作	富 澤
萩 原	佑 太	探索アルゴリズムを用いた野球の戦略分析	高 橋
眞 壁	洋 生	Power Automateを用いた事務作業の効率化に関する研究—公欠願申請の自動化—	布施川
松 坂	文 太	量子ホール効果での電極からのキャリア注入位置の実験的測定	平 井
松 田	昂 大	24時間持続可能なテスラコイルの製作	市村(和)
丸 橋	貴 斗	FPGAを用いた誤り訂正システムの実装	佐々木
望 月	健 成	Power Automateを用いた出欠管理アプリの開発	布施川
八 木	延 周	パルスシーケンス発生器と高周波発振器の連携状況報告	五十嵐
山 田	和 輝	QRコードの基本	大 嶋
大 和	佳 虎	STMを用いたCu(111)表面の表面状態に関する研究	塚 原
渡 邊	謙太郎	圧電素子を用いたグラスハーブ振動の解析	市村(和)

学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
朝 日 奎 介	オートマトンを用いた半導体デバイス動作の可視化	大豆生田
有 賀 光 希	サッカーボールの挙動解析によるトレーニング支援	渡邊(俊)
粟 盛 智 也	風船を用いた情報伝達手法の検討	大 墳
石 澤 ひなの	クイズ形式による簡易型認知症診断ゲームー会話型高齢者生活支援アプリの開発に向けてー	荒 川
出 浦 勇 海	無限集合の濃度とカントル集合	北 田
伊 藤 天 寿	表情変化を活用した新たな認証方式の提案	渡邊(俊)
入 江 直 幸	単語のベクトル化を用いた物語の再生成	荒 川
上 山 航 平	足裏を使用する 1 点式体表点字システムのための周波数と振動パターンの検討	大 墳
江 尻 晶	多種類の印刷機を用いた多種類印刷物の印刷計画自動作成ツール	菊 地
攪 上 知 哉	バブルソートグラフにおける辺素なハミルトン閉路に関する予想の検討	菊 地
門 倉 歩 叶	動的難易度調整を用いたゲーム上達支援システムの提案	荒 川
狩 野 翔 冴	機械学習を用いた株価予測の最適化	宇治野・高橋
木 島 慧 大	Web ページ内コンテンツに基づいたフィルタリング手法の提案	大 墳
小 林 寛 弥	FPGA を用いたダイレクトサンプリング方式 FM 受信機の開発	築 地
坂 本 啓 輔	多種類の印刷機を用いた多種類印刷物の印刷計画自動作成ツール	菊 地
佐 藤 天 翔	大貧民形勢判断のための手札評価関数の検討	荒 川
佐 藤 萌ノ亜	視覚障がい者のための知人検出アプリの開発	渡邊(俊)
品 田 将 太	動画像処理によるバスケットボールのプレー区間の推定	川 本
島 田 慎太郎	バブルソートグラフにおける辺素なハミルトン閉路に関する予想の検討	菊 地
鈴 木 大 翔	VR による歩行訓練システムの開発	渡邊(俊)
関 翔 悟	アナログシンセサイザを題材とした電子回路学習教材の開発	築 地
高 井 颯 汰	2D-LiDAR と RGB-D カメラを用いた自律移動ロボットのための環境地図作成の研究	李
高 橋 侑 大	オートマトンを用いた半導体デバイス動作の可視化	大豆生田
武 井 智 哉	2点式体表点字を用いた歩行支援での識別しやすい指示情報の検討	大 墳
立 山 蓮	コンピュータ・カタナー人間らしく振舞うボードゲーム AI の実現に向けてー	荒 川
登 坂 真 伍	音声と顔深度情報の時間変化を用いたマルチモーダル話者照合	川 本
富 田 彩 乃	メルスペクトログラムと数量化理論を用いた楽曲の分類	宇治野・高橋
中 野 友 晴	表情変化を活用した新たな認証方式の提案	西 山
中 村 成 貴	Accessiblity Service とセンサーを用いた視覚障がい者支援サービスの開発	渡邊(俊)
野 口 晃 宏	近年の前橋市におけるからっ風へのデータ科学によるアプローチ	雑 賀
野 村 隆 晃	量子コンピュータの回帰問題への応用	宇治野・高橋
馬 場 夏 希	ハンドトラッキングを用いた認知訓練アプリケーションの開発	渡邊(俊)
平 野 耕 河	音声解析による音楽と連動した照明演出の自動生成	大豆生田
深 町 郁 翔	SNMF を利用した雑音に頑健な特定話者音素アライメント	川 本
藤 井 友 朗	対話形式テキストの執筆を支援する聞き手エージェントの提案	荒 川
水 野 哲 郎	追い越しを禁止した ds2s-OV モデルとその超離散化	宇治野・高橋
南 依 杜	ディスプレイ部品で構成する降圧形 DC/DC コンバータの設計	築 地
茂 木 隆 将	コンピュータ・カタナー人間らしく振舞うボードゲーム AI の実現に向けてー	荒 川
茂 木 彩 音	屋外における低消費電力 IoT 用途に適した環境発電モジュールの開発	築 地
八 木 聡 太	近年の前橋市におけるからっ風へのデータ科学によるアプローチ	雑 賀
山 口 天花里	カム機構を用いた装着感を改善した腰パワーアシストスーツの開発	李
山 崎 菜々花	巡回セールスマン問題における経路分割	大豆生田
山 本 空 澄	介助用パワーアシスト車いすにおける衝突回避のための認知アシスト手法	李
アハド ファリス アドリ ビン ザカリア	Fundamental Concepts in Category Theory	北 田
トウメンバヤル テグシジャルガル	Fundamental Concepts in Category Theory	北 田

学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
石 川 美 雛		大和田
石 田 瑞 希		羽 切
伊 丹 柚 貴		工 藤
岩 佐 茜		中 島
小 柏 敦 詩		友 坂
岡 田 琉威斗		中 島
岡 本 季咲良		出 口
岡 本 実紗妃		大和田
柿 田 航太朗		齋藤・深澤
加 藤 丈 暉		中 島
金 子 夕 姫		大 岡
神 林 香 凜		友 坂
黒 澤 大 輝		大 岡
西 郷 さくら		出 口
坂 下 航太郎		齋藤・深澤
桜 井 藍 乃		ルカノフ
佐々木 陽 生		ルカノフ
笹 澤 海 渡		羽切・和田
佐 藤 寿 俊	※本ページの卒業研究題目につきましては、知的財産の観点から	辻
尊 馬 涼 葉	非公開とさせていただきます。	羽 切
高 橋 祐 人		大和田
高 橋 理 人		大和田
橋 陸 王		齋 藤
田 村 豪		齋 藤
津 野 光 葵		ルカノフ
登 坂 光 優		羽 切
豊 島 陸 玖		齋 藤
中曽根 恋 音		出 口
原 紀 花		大 岡
福 島 滉 基		中 島
藤 井 美 有		出 口
船 津 野々夏		羽 切
松 井 伸		工 藤
宮 内 草 太		齋 藤
宮 下 海 光		友 坂
森 亮 翔		辻
諸 田 実紗希		羽 切
横 山 黎 於		友 坂
ガントルガ ビレグサイハン		ルカノフ

学 生 氏 名		卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
青 木	匠	デザコンにおける軽量四分割ペーパーブリッジの解析および製作	木 村
阿左見	聡 太	ケイ酸添加基質を用いた活性汚泥による室内実験装置の水処理能への影響	宮 里
新 井	颯之介	安価 LiDAR システムを土木現場で運用するための調査検討	先 村
石 黒	瑠 斗	含水比による地盤の流動性の変化	森 田
石 橋	夏帆海	正観寺沼における堆積土砂の粒度組成と流況との関係性についての一考察	永 野
伊 藤	綾 香	2018 年インドネシア・スラウェシ島地震における大規模長距離地盤流動の誘因に関する研究	井 上
伊 藤	涼	土石流による立木折損のプロセス解明に向けた水路実験と評価手法についての検討	永 野
今 村	優之介	モルタル製小型矩形流路を流下する溶岩の流量と流動・堆積特性との関係に関する研究	永 野
牛 込	颯 太	含水比による地盤の流動性の変化	森 田
大 可	航 聖	地域のバイオマスを活用した連作障害抑止型土壌改良資材の製作及び実用化検討	宮 里
大 竹	志 弥	ケイ酸添加基質を用いた活性汚泥による硫酸塩還元反応に及ぼす影響	宮 里
大 谷	陸	接着剤による補修後のコンクリートの曲げ強度改善効果について	田 中
岡 本	大 輝	安価 LiDAR システムを土木現場で運用するための調査検討	先 村
小 見	ひかる	廃グリセリンを用いた堆肥化による発酵促進と作物の発育効果	堀 尾
柏 田	晴 一	1・2周波 GPS を用いたハイブリッド測位方式による猟犬・勢子の活動モニターサービス	先 村
金 井	広 貴	利根川中流域における MPs の春季から秋季の実態調査	宮 里
金 田	貴 寛	小規模土工事に最適な MG システムの比較検討	先 村
北 村	希 美	群馬県内の利根川におけるマイクロプラスチックの変化	宮 里
黒 崎	美 月	液状化した地盤における地震時応答を対象とした有効応力解析	森 田
古 川	輪	導水路における IoT センサで撮影した水象の動画管理システムの検討	井 上
小 暮	毅	アクアリウム内電極装置の通電連続性による水質制御の有効性について	谷 村
坂 上	光 汰	下水汚泥の堆肥製造過程時におけるアンモニア臭の抑制方法の検討	堀 尾
佐 竹	海 聖	デザコンにおける軽量四分割ペーパーブリッジの解析および製作	木 村
鈴 木	優 斗	地震動が地盤変状に及ぼす影響について	森 田
関 根	春 香	鉄懸濁液を用いた生活排水中のリンの流出低減の検討	堀 尾
田 中	陸 桜	外付け電極装置によるアクアリウムの水質制御の有効性について	谷 村
田 村	陽 大	各戸屋上で貯留した雨水によるピコ水力発電の実用性に関する実験的研究	永 野
梨 本	海七大	IoT センサを用いた RC 床版の損傷モニタリング方法の提案	井 上
船 木	七 海	バサルト bio-nest による窒素除去効果の検討	堀 尾
松 田	祥 雅	ネットワーク機器を用いたリモート立会システムの開発	先 村
森 谷	太 亮	球面すべり支承を対象とした水平 2 方向入力による地震応答解析	井 上
横 澤	遥 樹	接着剤による補修後のコンクリートの曲げ強度改善効果について	田 中
横 山	麗	紫外線殺菌によるアクアリウム内の藻類の発生抑制の評価	堀 尾
吉 田	将 崇	通電した水を用いたアクアリウムにおける水質維持効果について	谷 村
吉 田	律 喜	3 次元 FEM 解析による腐食損傷した鋼橋梁の応答値の検討	井 上

学 生 氏 名		課 題 名	サブタイトル	正担当	副担当
生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻	浅 見 遥 斗	電磁場を用いたプラズマの計測および制御と応用	Julia 及び Python を用いたプラズマ PIC シミュレーションの構築及び計算速度の比較	五十嵐	市村(和)
	石 関 隼 人	移動ロボットに関する研究	可動アンテナ型 RTK-GNSS を用いる移動ロボットの位置姿勢制御システムの試作と評価	市村(智)	荒 川
	生 方 丈 士	電源回路の電力変換・制御技術に関する研究	出力インピーダンスを用いた DC-DC コンバータの安定性評価に関する研究	佐々木	築 地
	江 尻 勝 海	先進材料の機械加工における力学特性に関する研究	SUS304 のフライス加工における表面粗さに及ぼすセミドライクーラント UFB 含有量の影響	黒 瀬	櫻 井
	大 沢 倫太郎	計算機を用いた量子力学系のシミュレーション	数値計算に基づく2重ポテンシャル障壁の研究	高 橋	塚 原
	岡 野 秦一郎	移動ロボットに関する研究	電動アクチュエータを用いる蠕動運動型大腸検査ロボットの試作と評価	市村(智)	荒 川
	金 澤 巧 祈	電磁場を用いたプラズマの計測および制御と応用	ミリギャップ火花放電電流の時間発展についての解析	五十嵐	市村(和)
	金 子 大 洋	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	FPGA を用いた可視光通信のための可変利得増幅回路と光軸調整システムの開発	佐々木	松 本
	齊 藤 創	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	極軌道とヤコビ行列による磁気トルカを用いた超小型衛星の姿勢制御に関する研究	平 社	樋 口
	瀬 谷 芽 斗	金属の高温酸化・高温腐食に関する研究	Cr ₂ O ₃ 皮膜の安定性に及ぼす模擬灰塩組成の影響	山 内	高 山
	武 政 昇 弥	システム制御を導入した計測手法に関する研究	インプロセス輪郭誤差計測システムの開発と計測範囲向上のための検討	平 社	樋 口
	中 島 弘 翔	ヒトが扱うメティア情報の認識・統合・合成に関する研究	音声と映像を用いた話者照合	川 本	大 墳
	萩 原 大 智	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	コスタス・ループを用いた可視光通信のための同期回路の開発	佐々木	五十嵐
	藤 井 愛 朗	固体物理学研究用核磁気共鳴装置の現代化に向けた集積素子活用検討	複数台 FPGA の連携動作によるパルスシーケンス発生装置の機能拡張	五十嵐	佐々木
	堀 口 光 星	GaAs/AlGaAs ヘテロ構造界面の2次元電子系の電流分布に関する研究	特殊形状試料による電極からのキャリア注入位置の研究	平 井	五十嵐
環 境 工 学 専 攻	簾 谷 京 平	固体物理学研究用核磁気共鳴装置の現代化に向けた集積素子活用検討	位相循環法対応型 NMR 信号波形記録機構の開発	五十嵐	佐々木
	森 川 結 菜	福祉情報工学に関する研究	足裏の感覚を使用した情報伝達に関する研究	大 墳	川 本
	山 口 喬 正	固体物理学研究用核磁気共鳴装置の現代化に向けた集積素子活用検討	核磁気共鳴プローブヘッド用自動式同調調整機構の開発	五十嵐	佐々木
	浅 見 健 斗	地盤の地震応答特性に関する研究	水平2方向入力地震動の軌跡特性が砂地盤の非線形地震応答に及ぼす影響	森 田	井 上
	内 田 玲 緒	真核微生物を用いた外来遺伝子導入法と発現システムに関する研究	微細藻類の脂質代謝関連遺伝子を有する発現ベクターの構築と形質転換体の解析	大和田	大 岡
	内 山 康太郎	地盤の地震応答特性に関する研究	水平2方向載荷に対する砂質土の非線形応答特性に関する解析的研究	森 田	井 上
	大 嶋 慧	植物や微生物が生産する生理活性物質に関する研究	果物中に含まれる抗変異原物質の単離	大 岡	友 坂
	柿 沼 勇 輝	植物や微生物が生産する生理活性物質に関する研究	植物由来物質の抗変異活性の評価	大 岡	友 坂
	古田島 勝	持続可能な社会の構築に向けた材料化学および化学技術	金属ナノ粒子担持カーボンナチューブ熱電変換材料の作製	羽 切	出 口
	近 藤 陸 斗	真核微生物を用いた外来遺伝子導入法と発現システムに関する研究	連作障害抑制に向けた植物寄生性線虫の遺伝子工学的解析	大和田	大 岡
	齋 藤 輝	環境中の物質動態による生活環境や生態系への影響と改善策の模索	河川環境における複合的評価指標を用いた現況把握と改善策の提案	宮 里	永 野
	柴 川 和 之	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	金属有機構造体上に固定化した貴金属ナノ粒子触媒の開発	齋 藤	ルカノフ
	白 崎 圭 祐	持続可能な社会の構築に向けた材料化学および化学技術	異種金属元素を内包する膨潤炭素負極電極の作製	羽 切	出 口
	高 橋 慧 起	持続可能な社会の構築に向けた材料化学および化学技術	金属ナノ粒子担持カーボンナチューブを用いた太陽光熱発電電材料の作製	羽 切	出 口
	高 橋 遼 成	有機化合物の光物性に関する研究	フェニル基 3,5- 位にアルキル基を持つナフタルイミドの固体表面における蛍光挙動の検討	中 島	工 藤

教職員からはなむけの言葉

A burden of one's choice is not felt.
自分で選んだ重荷は重いとは感じないものです。
何をしたいのかよく考えて、積極的に研鑽を積んでください。自分で背負ったみなさんの重荷がいつの日か実を結ぶことを願っています。
(一般教科(人文科学)教授 横山 孝一)

「人間一生夢の如し」、人生ははかなくてとても短いものだということです。
順風満帆な今後の長い人生を送られる皆さんにふさわしい言葉ではないかもしれませんが、無理をしすぎずに、日々を大切に生きてください。活躍を期待しております。
(機械工学科 教授 櫻井 文仁)

まあちゃん、俺達もう終わっちゃったのかな。
馬鹿野郎、まだ始まっちゃいねえよ。
[映画「キッズ・リターン」より]
卒業生・修了生の皆さん、これからです;-)
(電子情報工学科 教授 市村 智康)

人は、“行動を起こさない”から“できない”、という言葉があります。行動しないで後悔するより、一所懸命に実行しましょう。”何事も為せば成る”です。たとえ失敗しても、あなたの将来に繋がる貴重な経験になります。
(環境都市工学科 准教授 宮里 直樹)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。
皆さんが5年生、専1年生のとき、英語学習に励んでもらったことが懐かしく感じられます。進学先や就職先で大変なこともあるかと思いますが、オン・オフをうまく切り替えながら、よき人生を送ってください。
(一般教科(人文科学)准教授 板谷 洋一郎)

コロナ禍のもと、多くの困難に立ち向かいながら勉強に打ち込んだあなたたちの強さと忍耐力に敬意を表します。この時期の経験は人生に深い意味を与えます。これからも前進し続け、明るい未来への道を歩んでいってください。
(機械工学科 准教授 花井 宏尚)

高専生活5年(プラスアルファ)で答が既に分かっている問題を解くことはできるようになりましたね?大丈夫ですね?これからは、答が分かっていない問題を見つけ出して、どうやって解決するかを考える番です。
(電子情報工学科 教授 大豆生田 利章)

「人と関わりながらひとりではできないことにも挑戦を」
ご卒業おめでとうございます。
これまで育んできた能力は、他者の能力との相乗効果によって、より生きることを実感するでしょう。周りの人の良いところも引き出しながら、自らの能力を研鑽し、活躍していくことを期待しています。
(環境都市工学科 准教授 永野 博之)

ご卒業おめでとうございます。1、2年生時に担任と国語表現を担当していました。漢字テストでは丁寧な字で書くように伝えていました。上手でなくても心を込めて書くことが大事です。同じように何事も誠実に取り組んでいってほしいと思います。
(一般教科(人文科学)准教授 田貝 和子)

私が専攻科を修了してからの10年間で、世の中はかなり進歩しました。けど、これから皆さんが歩む10年ではたぶんもっとエグいくらいに進歩します。高専での学びをもとに引き続き頑張ってください。卒業・修了おめでとうございます!
(機械工学科 講師 高山 雄介)

ご卒業・修了おめでとうございます。
群馬高専で得た知識・技術・その他様々な経験は皆さんの確かな地盤となり、これからの人生を支えてくれるでしょう。友人との絆を大切に、大きく活躍してくれることを願っています。
(電子情報工学科 准教授 渡邊 俊哉)

卒業おめでとうございます。
卒業は新しいスタート、これからの更なる飛躍を期待しています!
人と人との繋がりを大切に、志高く歩んでください!
(環境都市工学科 准教授 井上 和真)

ご卒業おめでとうございます。
健康に留意し、一層の精進を心掛けてください。
ご活躍を期待します。
(一般教科(自然科学)教授 神長 保仁)

卒業おめでとうございます。入学時に思い描いた自分になっていますか。そうであった人も、そうでなかった人も、今の姿は確かに各々の5年間の結実です。それがどのような収穫につながるか、楽しみにしています。
(電子メディア工学科 教授 五十嵐 睦夫)

個性輝く皆さん、ご卒業おめでとうございます。
「生命は自分自身だけでは完結できないようにつくられているらしい」という詩の一節があります。独りよがりになることなく共感と共鳴を大切に。ずっと応援しています。
(物質工学科 嘱託教授 大和田 恭子)

「あなたの行動がほとんど無意味であったとしても、それでもあなたははしくてはならない。それは、世界を変えるためではなく、世界によって自分が変えられないようにするためである。」 マハトマ・ガンジー
卒業おめでとうございます。まずは行動を。彼らのいように変えられてしまいますよ。
(教育研究支援センター 技術職員 浅見 博)

ご卒業おめでとうございます!コロナ禍における学生生活は理想とは違ったかもしれませんが、人生これからが本番です。将来、誰だか思い出せないくらいに素敵な大人になったみなさんと再開できることを楽しみにしています!
(一般教科(自然科学)教授 高橋 徹)

COVID-19のパンデミックによる遠隔授業。対面授業が再開された際に、人とのやりとりが貴重なものとして再発見されたのではないのでしょうか。そんな掛け替えのない体験を忘れないでください。
卒業おめでとう。
(電子メディア工学科 教授 平井 宏)

Congratulations, graduates! May your life journey be rich with opportunities, achievements, and continuous learning. May your passion for technology create a positive impact, bringing fulfillment and joy to your endeavors. Best of luck in this exciting new chapter of your lives
(物質工学科 准教授 ルカノフ アレクサンダー ルメノフ)

卒業、修了おめでとうございます
戦士ってのは最後まで立っていたヤツが勝つんだ
byアイゼン
皆よくぞ最後まで立っていました
アウラ、小躍りして祝えw
(教育研究支援センター 技術専門員 森田 真司)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。これまでの高専生活で得たものを糧としながら、皆さんそれぞれの自分の人生を切り拓いて行ってください。ご活躍をお祈り申し上げます。
(一般教科(自然科学)准教授 北田 健策)

ご卒業おめでとうございます。
皆様が高専生活で身に着けた「知力」、「体力」などの様々な力は所持しているだけではなく行使できる状態で初めて大きな力を発揮することができます。
今後、皆様がそれぞれの進路において「全力」で活躍し、大きな成果・結果を得ることを期待しております。
(電子メディア工学科 准教授 松本 敦)

ご卒業おめでとうございます。
入学した時のことを思い出してみ、当時思い描いていたような5年間だったでしょうか?当時の目標を達成できたこともあれば、思い通りにいかなかったこともあるかもしれません。大事なのは、振り返りです。
皆さんがこれから迎える新しい生活が、素晴らしいものになることを心から願っています。
(物質工学科 准教授 工藤 まゆみ)

ご卒業・修了おめでとうございます。
日本は、世界最古の国としてギネスに登録されています。平和で豊かな社会の実現に向け科学・工業分野での貢献・活躍に期待しています。
目指せ!ノーベル賞
(教育研究支援センター 技術専門職員 加藤 正明)



退任挨拶

リーグ戦

電子メディア工学科 嘱託教授 **大嶋 一人**

サッカー W杯を戦った選手が日ごろのリーグ戦の重要性を話していました。私のリーグ戦は群馬高専の授業です。群馬高専の授業は私の最高舞台です。授業等を通して学生から多くのことを学ぶことができました。学生がいてくれたおかげでここまで来ることができました。練習試合、地区大会等を引率できたこともよい経験になりました。アパートの畳の上にあおむけになって、この学校でやっていけるだろうかと思った37年前のことが昨日のことのようです。教職員、学生、保護者のみなさまのおかげで何とか今までやって来ることができました。たいへん感謝しております。

大学2年生の頃に物理を専門にすることにしたもの基本からレベルが合わず、百科事典を読むような勉強に落ち込んでいました。群馬高専でいくつかの科目を担当することができ大変ためになりました。群馬高専は私にとっての最高の学校です。群馬高専がよい学校であり続けることを願っております。



ありがとうございました

一般教科(自然科学) 准教授 **清水 理佳**

令和5年度末で群馬高専を退職することにいたしました。退職後はいろんなことに挑戦したいと思っています。タイ高専も含めて11年間高専で働かせていただき、楽しく貴重な経験をさせていただきました。仲良くしていただいた教職員のみなさん、ありがとうございました！そして学生のみなさん、いつも楽しく授業や課外活動で素晴らしいがんばりを見せてもらって嬉しかったです。ありがとうございます。ホームルームクラスの1年1組のみなさんとは楽しい思い出でいっぱいです。みなさんが夢に向かって高専生活を楽しんでいる顔を見て、いつも幸せな気持ちになっていました。みなさんの心の優しさや前向きな姿勢は、42人一人一人本当に素晴らしくて心から尊敬しています。これからもずっと応援しています。保護者のみなさまにもいつもサポートしていただき本当に心強かったし嬉しかったです。ありがとうございました！



ありがとうございました

一般教科(自然科学) 准教授 **吉田 はん**

数年前から体力が落ちてきたことを感じ始め、今年度を持ちまして早期退職します。(病気ではありません。)来年度より群馬大学の非常勤講師として線形代数を教える予定です。

平成14年4月1日に採用されて22年間勤務しました。22年間、授業その他の仕事で上手いくことばかりではなかったのですが、学生さん、先生方、事務職員の皆様から温かい言葉をかけていただき、乗り越えていくことができました。

また、授業、担任、バレーボール部の顧問の仕事などを通じて多くの学生さんたちと接することで、様々な考え方、感じ方をする人がいることを知り、人間として成長することができたと思っています。

2020年から3年間、寮務主事補を務めたときには、いたらぬ点もあったかと思いますが、先生方、事務の方、寮生の皆様にご協力いただきましたことに感謝しております。

最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。今まで、本当にありがとうございました。



退職のご挨拶

教育研究支援センター 技術職員 **関口 宏治**

昭和52年4月から群馬高専に勤務し、45年間という長い年月を過ごしてまいりました。これほど長い年月をすごせたのは周りの教職員の方々の優しさや親切のおかげで楽しく勤務出来たからです。同僚の技術職員や機械工学科の教員の皆様、事務職員の皆様には感謝しかありません。ありがとうございました。

仕事をするうえで心掛けた目標がありました。若いころは学校中の機械を使えるようになることでした。レーザードップラー流速計や走査電子顕微鏡など、色々な実験装置や計測機器を使うことで自分の技術スキルをアップすることができたと思います。

また、広く浅くでしたが機械工学を色々学べたことは幸せだったと思っています。

4月からは暇になりますので、しばらくは国内旅行でもしようかと思っています。

最後になりましたが、皆様のご健康と群馬高専の益々のご発展・ご活躍をお祈りいたします。



ニュース&トピックス

学生会新役員紹介

皆さんに寄り添った学生会

来年度、学生会会長を務めます環境都市工学科の高橋凌大と申します。これからの一年間、皆さんと共に築いていく学校生活に期待と希望を抱いております。副会長は、物質工学科の宮島智宏と環境都市工学科の小林孝太郎が務めます。私たち執行部は、学生会の中心となって学校全体の活動やイベントを盛り上げ、皆さんと共に成長できる場をつくっていきます。

学生会は、皆さんをつなぐ架け橋であり、共に学び合う大切な組織です。皆さんの高専生活を有意義なものにするために、私たちは皆さんの声をしっかりと聞き、共に歩む姿勢を大切にしていきます。ぜひ一緒に新たな思い出を作り、素晴らしい高専生活を築いていきましょう。

最後に、学生会が今あるのは、これまで学生会を支えてくださった先輩方や教員の方々のおかげです。

2年3組 (C) **高橋 凌大**

この場をお借りして深く感謝いたします。これからも、私たちは皆さんの期待に応えられるよう、精一杯努力してまいりますので、どうぞご支援よろしくお願いいたします。



令和5年度 環境大臣表彰

環境大臣表彰の受賞

この度、第67回生活と環境全国大会において、「廃棄物・浄化槽研究開発功労者」として環境大臣表彰を拝受しました。

私自身、企業時代に日本独自の生活排水処理システムである「浄化槽」を知ることとなり、「浄化槽」の開発途上の時代から、これに関連した研究活動や社会貢献などを行う機会に恵まれ、今日まで継続して行うことができました。そこには、国、自治体、関係団体、大学研究者との協働があり、そこで多くの現場の現状を知り、学ぶことができたことにあります。

研究としては、消毒・除菌プロセスの滅菌技術の課題やその評価に関連する内容から、その後、浄化槽技術の進展とともに生活排水処理機能の評価と改善策に関連した研究を行ってきました。近年は、海外の研究者との連携もあり、国内に限らず、諸外国

環境都市工学科 教授 **堀尾 明宏**

にも目を向けて活動しています。

常に、「実現場への実践可能な方法、提案」を意識し、行っています。

現在は、さらに「リサイクル」に目を向けて、研究を進めています。



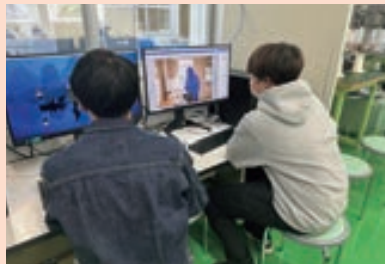
高専DCON2024

DCON 初めての挑戦、Big5！

1J 山内 優雅

2023年10月、授業だけでは学べない技術に触れたい、企業について関心を深めたいなど強い思いをもった1年生が5人集まり、チームを組みました。全力で挑戦し、様々な経験をし、いつかそれぞれがBig5になる！という思いを込め、チームには「Big5」と名付けました。

メンバーの1人の祖父が転倒により怪我をしたことから、介護の現場で危険を察知する見守りシステムを開発し、販売する事業を提案しました。カメラの画像をAIで学習することで危険な状態を判定し、危険な状態が発生した場合には連絡が届くシステムを開発します。技術的に分からないことが多く、人数も少ないため1人1人の負担が大きく感じられましたが、整った環境で作業をし、時には先輩方を頼ることで自分たちの理想に向かって努力できました。また、1月20日に行われたアントレプレナーシップ教育工房お披露目会では、国会議員の方々にプレゼンを聞いていただく機会もありました。今回のDCONへの挑戦で多くの技術に触れ、新しいことを学び、貴重な経験までさせていただきました。そして、これからも挑戦することを恐れずに様々な経験していきたいと思っています。



トライアルファクトリでの活動風景

仮想現実上に存在する全ての物体に触れられるグローブ型コントローラー『ユビキタス』

4C 平野 寛斗

DCONは、高専生が日頃培った「技術」とAIを活用した作品を制作し、「事業性」を企業評価額で競うコンテストです。『ユビキタスVRラボ』チームでは仮想現実上のすべての物体に触れる事ができるグローブ型コントローラー『ユビキタス』を開発しています。

従来の仮想現実から触った感触を返す機器は、ソフトの中に触れたかどうかの判定をする仕組みを組込む必要があり、対応ソフト以外では動作せず、仕様上対応できないことから、これが普及の妨げになっていました。

一方我々が開発中のシステムでは、深度判定と手の骨格検出をVR機器から出力された映像を用いてAIでリアルタイムに処理し、その結果をグローブにある大量の小型パイプから伝えます。つまり既存のプログラムに干渉せず、これまでに作成された全てのVR/ARコンテンツに新しい機能として触感フィードバックが追加できます。

吹奏楽部 定期演奏会

ありがとうございました！

3J 渡邊 祥

こんにちは、吹奏楽部部長の渡邊です。

この度、私たちは第61回定期演奏会を開催しました。来場してくださった方々に、本当に感謝しています。

今年は、COVID-19による規制の緩和や工華祭などもあり、私が1、2年生の時よりもイベント数が多くなりました。そんな限られた時間の中でしたが、部員たちが練習をがんばってくれたおかげで、2023年ラストのイベントを無事に終えることができたことを嬉しく思います。

定期演奏会は、工華祭や文化発表会と違い、群馬高専吹奏楽部単独でのイベントだったので、その分考えることが多かったり、仕事や責任が私に集まったりして大変でした。パンフレットの作成や、手伝いに来てくださった学生の方々への依頼など、今まで経験したことのないような仕事も大量にありました。しかし、定期演奏会が成功し

たのであれば、よかったのではないかと思います。

来年度の定期演奏会は、部長は変わりますが、今年のものよりもいいものにしますので、ぜひ聴きにきてください。



全国高等専門学校デザインコンペティション

構造デザイン部門

デザコン参戦記

4C 小林 光希

11月11日から11月12日の2日間にかけて、京都府舞鶴市にて全国高等専門学校デザインコンペティション(以下、デザコン)が開催されました。デザコンがどんなものか知らない方もたくさんいると



思うので簡単に紹介します。デザコンでは、紙とボンドのみで橋をつくり、デザイン性や軽さ、耐荷重などを競います。また、毎年様々な条件で橋をつくるのですが、今年は分割可能な、2つから4つのパーツで構成された橋に、40キログラムの荷重をかけた上で、衝撃荷重を加えるというものでした。4月に条件が発表され、約半年間、大会に向けて試行錯誤しながら橋をつくりました。大会の結果は、大惨敗でした。具体的にいうと、10キログラムの荷重で橋が壊れました。試作品ではもっと耐えていたので、悔しかったです。この無念は後輩達に晴らしてもらいたいと思います。

協働しあう橋～阿吽A・UN～

5C 佐竹 海聖

令和5年11月11日12日の2日間、京都府の舞鶴市総合文化会館で第20回全国高等専門学校デザインコンペティション(通称デザコン)が開催されました。橋の作品名は左右の部材に分割し、互いに支えあう構造形式を採用したため、仁王像より「阿吽」と命名しました。そして私たち阿吽チームは荷重と共に支点部分を変形させ、高荷重や衝撃にも耐えうる橋を実現しました。しかし大会前のアクシデントで橋の一部が破損し、結果10kgで崩壊しました。その後、われら阿吽チームは失敗をバネにさらなる載荷試験の実施、橋の改良を行い、大会終了2ヶ月で約90gの軽量化、耐荷重40kgに成功しました。これは部員をはじめとする学生・教職員の方々の協力あってこその実現だと思います。本当にありがとうございました。来年出場する学生の健闘をお祈りします。



関東信越地区高専英語弁論大会 参加報告

英語を“使う”大会

3M 渡邊 真桜

初めての英語弁論大会は、とても過酷でした。それは、英語を“使う”ことの難しさを痛感したからです。私の出場したスピーチ部門では、発表原稿からパフォーマンス、スライドに至るまで全て自分で作り、またその全てが審査対象でした。特に、宇宙ごみ問題をテーマとしたことで、データの正確性や伝わりやすさにも心を砕く必要がありました。

結果としては賞を逃しましたが、これほど熱心に英語と向き合った経験は揺るぎないもので、不思議と爽快感がありました。また、英語で自分の主張を伝えたことで、技術者としての英語力を磨く練習にもなりました。確かに、単語を並べれば会話はできます。しかし、英語を使いこなせる技術者は何より強いと思います。勉強だけではそのように英語を“使える”技術者になれないからこそ、参加して本当に良かったと感じています。



留学生研修旅行

草津留学生旅行の感想

5K ガントルガ ビレグサイハン

私達は日本でとても有名な草津温泉を訪ねました。有名な温泉を訪ねることにわくわくし、またその一方でスノーボードを習うことに心配し、旅行前日は眠りにつけませんでした。草津町は雪が降ったため空気がスッキリしていました。旅行はとても有意義で、特に印象に残っているものは2つありました。

1つ目はスノーボード体験でした。「スキーはできるので今回はスノーボードはどう？」と勧められ、挑戦したのが良かったと思います。スキーよりスノーボードの方が難しいという意見をよく耳にしますが、実際にやってみると逆でした。両足が一つのボードで繋がっているのもスキーと違って動きやすかったです。

2つ目は草津温泉でした。硫黄の匂いが風にのり、降雪で一変した草津町は深い印象を与えていました。

美しい景色を眺めながら新たな自分に挑戦し、日本文化の一面を体験できた旅行になったと思います。この旅行を可能してくれた皆様に感謝申し上げます。



ニュース&トピックス

寮祭スポーツ大会報告

寮祭スポーツ報告

3E 長森 涼音

令和5年12月3日、寮祭スポーツが催されました。このイベントは、寮生の一から三年生が様々なスポーツを通して他学年と交流を深める催しです。女子寮生はバレー、ドッチボール、何でもバスケットなどの競技をしました。初めこそぎこちなさが見られましたが、バレーを通して徐々に和気あいあいとした雰囲気になり、女子寮恒例の何でもバスケットでは、普段の生活では話題にならないことをお題にしたりして賑わいました。ドッチボールをプレイする頃には、寮生たちの緊張もほぐれ、全力で試合を楽しんでいました。催しの終盤には仲良く片づけをする姿が見られ、寮祭スポーツを通して普段なかなか経験できない良い交流が生まれたと感じました。

スマートサイエンススクール(SSS)

高専で研究体験！

物質工学科長 羽切 正英

スマート・サイエンス・スクール(SSS)は、理工系分野に興味がある中学生に研究・探求活動を体験してもらう連続参加型のイベントです。令和5年度はコロナ禍以前の規模での開催を目指して準備を進め、29名の中学生を受け入れて実施することができました。7月22日に開校式を実施したのち、7月下旬から12月下旬までの期間に、中学生たちは校内各所でテーマごとに様々な活動に取り組みました。12月23日に行われた閉校式では、参加した中学生たちがその成果を自ら発表しました。中学生たちの取り組み、そして堂々とした発表に、会場からは大きい賛辞が贈られました。

最後に、参加いただいた中学生のみなさん、指導にあたってくださった先生方や補助学生の皆さん、実施にあたって協力いただいたすべての方々へ、篤く御礼申し上げます。



第66回 自動制御連合講演会

「優秀発表賞」受賞

自動制御連合講演会の優秀発表賞を受賞して

5M 井上 永遠

2023年10月7日～8日に東北大学川内キャンパスで開催された第66回自動制御連合講演会に参加し、超小型衛星の姿勢制御に関する研究発表を行ってきました。この研究発表は、先輩諸氏が開発した衛星の軌道上実証実験をまとめたもので、今回の研究を通して超小型衛星の振る舞いを学ぶことができました。また、自分が将来、1つの目標としている宇宙開発の道に進むうえで、とても貴重な経験となりました。276件の発表の中、17名の講演者に贈られる賞とすることでとても嬉しく感じています。今回の講演会に参加し、受賞するにあたり、様々な面で助けていただいた先生をはじめ、研究室の諸先輩方にこの場を借りて感謝申し上げます。



第20回 ヤングメタラジスト研究交流会

「優秀ポスター賞」受賞

さらなる高みへ

5M 古崎 友暉

令和5年11月8日(水)に日本金属学会関東支部主催のヤングメタラジスト研究交流会が物質・材料研究機構千現地区にて開催されました。私は「縦型高速双ロールAI casting材の表面光沢・非光沢と組織の関係」と題してポスター発表を行いました。学会での発表は今回が初めてだったのでとても緊張しましたが、様々な大学の先生方や学生、企業の方々から今後の研究の参考になるご指摘をいただき、とても充実したものとなりました。同時に大学院生、学部生のレベルの高い発表から、今後の研究に生かせるものを多く吸収することができ、貴重な経験となりました。また研究を始めてから今まで丁寧なご指導をしてくださった黒瀬先生、高山先生、山内先生に深く感謝申し上げます。



令和5年度 群嶺テクノセミナー

大人の科学

地域連携テクノセンター長 市村 智康

本年度は計5回のテクノセミナーを群嶺テクノ懇話会主催で実施させて頂きました。特に、第177回では「理系女子応援特別セミナー」と題して、本校の清水先生を講師に迎え、女子中学生を主な対象としたグループワーク「次元で遊ぼう!」を実施しました。講師から、これまでの数学研究におけるご経験やタイ高専での活躍を伺った後、各グループで模造紙を使用して、2次元の家や4、5次元のサイコロについて考え、最後にコッホ曲線という不思議な図形の作成に挑みました。ご講演後は、女子中学生との活発な質疑応答があり大変盛り上がりしました。それ以外のご講演も別表にありますように知的好奇心をそそる大変興味深いお話ばかりでした。テーマは多種多様な専門分野にわたり、「子供の科学」(大正13年に創刊され今年で100周年を迎える雑誌)ならぬ、まさに「大人の科学」(同名の雑誌もある)の様な感じです。

次年度も、様々な分野の講師をお迎えし、「大人の科学」のようなセミナーを開催して参りたいと思いますので、是非ともご期待頂ければと考えております。

	セミナータイトル	講師	年月日
第174回	群馬県内の蚕糸網に関わる遺産の現状と保存・活用に向けた課題	一般教科(人文科学) 講師 石関 正典	6月23日
第175回	コンピュータシミュレーションによるタンパク質の挙動解析	電子情報工学科 准教授 西山 勝彦	7月28日
第176回	食品産業における酵素の利用～糖質分解酵素を中心に	一般教科(自然科学) 准教授 石川 英司	10月13日
第177回	理系女子応援セミナー「次元で遊ぼう!」	一般教科(自然科学) 准教授 清水 理佳	11月11日
第178回	系内の不均一化を積極的に利用した結晶粒子群製造～海水溶存資源の分離海流プロセスの高効率化を目指して～	物質工学科 講師 和田 善成	12月8日

生物教育研究連携シンポジウム

身近な自然と人との関わり
ー第8回群馬高専生物教育研究連携シンポジウムー

地域連携テクノセンター 副センター長 宮里 直樹

令和5年12月15日に「身近な自然ー里山里池里沼ーと現代の人との関り」をテーマとしたシンポジウムを、3名の講師をお招きして開催しました。今回のシンポジウムは、里山に代表される暮らしに身近な自然と人との関わりを考える機会になればと思い企画しました。

講演1では高専機構本部(KOSEN KMUTT)の宮越峻一先生から「私たちの西湖ー身近な水辺で学ぶ生物多様性と持続可能性ー」として、講演2では群馬県立ぐんま昆虫の森、昆虫専門員の茶珍護先生から、「群馬県の水辺と水生昆虫ー水生コウチュウ・水生カメムシー」として、群馬を中心に身近な自然の状況やそこに生息する水生昆虫についてのご講演をいただきました。本校教職員の生物に関連する研究紹介(ポスター形式)が開催された後、基調講演では、東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授の曾我昌史先生より、「人と生態系にとって大切な身近な自然」として、人と自然との関係についてご講演をいただきました。シンポジウムの終わりには、3名の先生方とのパネルディスカッションが開かれ、活発な議論が行われました。



留学生作文コンクール2023

「奨励賞」受賞

モンゴルの都市計画と建設業界が直面している問題

3C バトツオージ エルデネオチル

第25回後藤新平・新渡戸稲造記念全国高校生・留学生作文コンクール2023に応募しました。テーマは「住み続けられるまちづくりを」です。留学生の部で奨励賞を受賞しました。

この作文では、モンゴルの都市計画と建設業界が直面している問題について書きました。その問題を解決するために、私自身が何を勉強すればいいのかも書きました。この作文を書いている間、私は多くの調査を行い、日本の建設業界が非常に発達していることを知りました。奨励賞をいただけたとは思っていませんでした。受賞できてとても嬉しいです。これからも頑張っていきたいと思っています。



第60回 環境工学研究フォーラム

「優秀ポスター発表賞」受賞

守りたいフグの味

2AE 齋藤 輝

今回、昨年11月末に山口市で開催された環境工学研究フォーラムにて優秀ポスター発表賞をいただきました。本学会では、日本での研究例が少ない、魚類消化管中のマイクロプラスチック(MPs)について発表しました。ところで冬・山口・魚というと、フグを思い浮かべる人は多いかと思います。実際に、私も現地にてフグ刺しを食べました。フグのような美味しい水産資源の持続可能性を高めるには、MPsが及ぼす影響を明確化し、対策していくことが重要です。今後は、この研究を論文としてまとめ、より多くの人に魚類のMPs問題を知ってもらい、MPs対策に少しでも貢献していきたいと考えています。

最後に、本研究を遂行するにあたり、お手伝いいただいた同研究室の小保方君には心より感謝いたします。



アントレプレナーシップ教育工房を開設しました！

アントレプレナーシップ教育工房のご案内

産学連携アントレプレナーシップ教育工房長 木村 清和

本校ではアントレプレナーシップ教育の一環として、学生が社会や身の回りの課題を見出し、自由な発想に基づき、主体的に取り組んで解決するための場として、アイデアを具現化するための「トライアルファクトリ」と、情報・デジタル分野の発案を熟成させ具現化する場としての「リアライズスタジオ」で構成される「アントレプレナーシップ教育工房」を設置しました。

主な装置と利用方法を以下に紹介します。学生のみなさんは自由に使用することができます。また、はじめてご使用になる方への支援もあります。この工房を利用して夢の実現にチャレンジしてください。

工房に設置する装置・機器は、その特性や管理方法等により右記の4種(群)に区分して運用しています。

A群	利用開始から終了までの間、技術職員(または教員)が立ち会います。必ず事前に利用申請をしてください。「承認」の連絡が届いたら利用可能となります。
B群	利用開始時、および終了時に技術職員(または教員)が立ち会います。これらの機器についても、事前に利用申請をしてください。
C群	開房時間内であれば、事前に申請することなく誰でも自由に利用することができます。
D群	工房の装置を各学科に貸出し、それぞれの学科で管理・運用しているものです。利用にあたっては、当該学科が指定した管理者に直接連絡するか、または、利用申請をしたうえで、管理者の指示にしたがってください。

◎主な装置・機器

【トライアルファクトリ】情報基盤センター内

◆熱融解積層式3D プリンタ (B群)

300×300×300mm サイズまでの部品の作製や試作品の動作確認などに利用できます。フィラメントと呼ばれる細い樹脂を熱で融解し、プリンタヘッド先端のノズルから排出させて製作物の断面を一層ずつ造形する3Dプリンタです。

◆光造形式3D プリンタ (B群)

光硬化性の樹脂溶液(レジン)に紫外線を照射して硬化させることにより造形する3Dプリンタです。大型モデル造形用と小型モデル造形用の2種類があり、最大で300×185×400mm まで加工可能です。

◆3D スキャナ (B群)

固定式とハンドヘルド式の両方で利用できる非接触3Dスキャナです。どちらの方法でも、高精度な点群データを取得することができます。3cm から4m程度の対象物の形状を測定できます。

◆レーザーカッター (B群)

素材のカットや画像の刻印などを、高精度に加工することができます。手書きの文字やイラストをそのままデータ化して加工したり、保存してある写真を使用して加工することも可能です。

◆デジタルマイクロスコープ (B群)

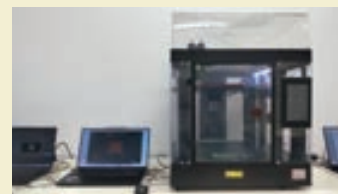
顕微鏡の接眼レンズの代わりにデジタルカメラを使用して画像を取り込み、リアルタイムで観察対象をモニタ上に表示します。

◆真空凍結乾燥機 (B群)

食品のフリーズドライ加工を行うことができます。

◆コンターマシン、サンダー、ボール盤 (A群)

鋼材、樹脂、木材などの切断、研磨、穴あけができます。



熱融解積層式3Dプリンタ



光造形式3Dプリンタ



3Dスキャナ



デジタルマイクロスコープ



レーザーカッター

【リアライズスタジオ】 群嶺会館2階

◆写真3D 計測システム (A群)

「フォトグラメトリ」により3D計測(写真測量)を行うシステムです。上空から建築物や地形などの撮影を行うための高画質カメラを搭載したUAV(ドローン)とデータ処理ソフト、専用のPCにより構成されています。(UAVの操縦は教職員が行います。)

◆3D レーザースキャンシステム (B群)

建築物や設備などの点群データを現場で高速・高精度に取得可能な赤外線レーザースキャナです。70mの計測範囲があります。

◆全身3D スキャンシステム (B群)

ケージに設置された96台のカメラで全身の周囲360度を同時に写真撮影し、その画像をもとに「フォトグラメトリ」ソフトウェアにより3Dモデルを作成するシステムです。

◆MRシステム (B群)

3種類のヘッドマウントディスプレイを備えています。グラフィック性能の高いPCをMR(Mixed Reality)システム用に設置していますので、没入感の高いVR/MR空間を体験することができます。

◆映像/音声 収録・編集・配信システム (B群)

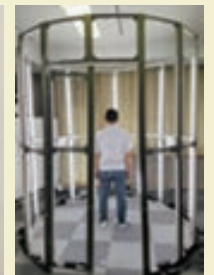
ビデオカメラ、配信用オーディオミキサ、ヘッドセット等、動画の撮影および配信に必要な機材を揃えています。



写真3D計測システム(UAV)



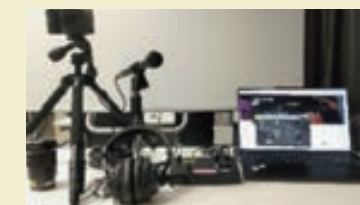
3Dレーザースキャンシステム



全身3Dスキャンシステム



MRシステム

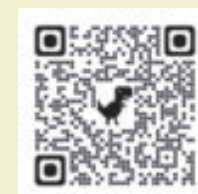


映像/音声収録・編集・配信システム

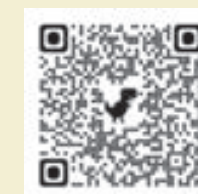
これら以外にも、プロジェクタ、大型モニタ、プリンタ(A3～A0用紙対応)、PCなど、空いていれば事前予約なしに使用できる機器類(C群)や、工房で調達し、学科に貸し出している装置・機器類(D群)もあります。詳しくは、工房のウェブサイト(<https://www.tech.gunma-ct.ac.jp/kobo/>)をご覧ください。

◎利用方法

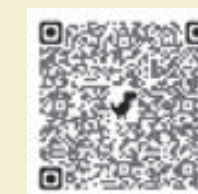
- ① マイクロソフトTeamsに設置されたオンラインコミュニティ「[013] 群馬 アントレプレナーシップ教育工房」チームに登録してください。下記QRコードから登録申請ができます。※登録は学内の方に限ります。
- ② A群、B群、D群※の装置・機器は利用申請システムより利用希望日の2開房日前までに利用申請してください。利用の可否についてはTeamsのチャットで回答します。
※ D群の装置・機器類は、所定の利用申請フォームに入力することで、各学科の装置管理者に連絡が行きます。
- ③ A群、B群、C群の装置・機器、工房スペースの利用後は速やかに報告システムにより利用報告書を提出してください。



①オンラインコミュニティ



②利用申請システム



③報告システム

令和5年度 学生表彰者一覧

1. 学業成績優秀賞(本科卒業生)

氏 名	学 科 名
渡 邊 将 斗	機 械 工 学 科
関 根 惇 貴	電 子 メ デ ィ ア 工 学 科
水 野 哲 郎	電 子 情 報 工 学 科
諸 田 実紗希	物 質 工 学 科
牛 込 颯 太	環 境 都 市 工 学 科

2. 課外活動功労賞

氏 名	クラス	対 象 事 項
登 坂 真 伍	5J	学生会長
野 村 隆 晃	5J	男子寮長
馬 場 夏 希	5J	女子寮長
笹 澤 海 渡	5K	硬式野球部部长
山 本 空 澄	5J	サッカー部部长
丸 橋 貴 斗	5E	バレーボール部男子部長
船 津 野々夏	5K	バレーボール部女子代表
品 田 将 太	5J	バスケットボール部男子キャプテン
北 村 希 美	5C	バスケットボール部女子キャプテン
鈴 木 優 斗	5C	ソフトテニス部部长
栗 盛 智 也	5J	卓球部部长
佐 竹 海 聖	5C	水泳部部长、構造デザイン研究会代表
山 口 天花里	5J	美術部部长
津 野 光 葵	5K	理科部電子工作班班長
岩 佐 茜	5K	理科部化学班班長
諸 田 実紗希	5K	茶道部部长
茂 木 隆 将	5J	SF研究部部长
水 野 哲 郎	5J	電算部部长
小 林 和 人	5M	ロボット研究会代表
伊 藤 涼	5C	コンクリートカヌー愛好会代表
富 田 彩 乃	5J	ダンス愛好会代表

3. 特別功労賞

氏 名	クラス	クラブ名	対 象 事 項
金 子 美乃莉	4C	陸上競技部	令和5年度関東信越地区高専体育大会 陸上競技 女子800m 優勝 女子3000m 優勝
久 保 瑞 香	4E	卓 球 部	令和5年度関東信越地区高専体育大会 卓球競技 女子団体の部 優勝
齋 藤 暖	1-1(E)		
原 野 恋 羽	2-3(J)		
田 中 はんな	2-4(K)		
森 本 莉 紗	4K	剣 道 部	令和5年度関東信越地区高専体育大会 剣道競技 女子団体の部 優勝
菅 谷 美 羽	2-5(C)		
野 口 真 歩	4K		
小 林 あ み	3M		
鈴 木 琴 里	3E	水 泳 部	令和5年度関東信越地区高専体育大会 水泳競技 女子50m自由形 優勝 水泳競技 男子100m背泳ぎ 優勝 男子200m背泳ぎ 優勝
植 松 美 羽	3C		
小 川 桜 子	1-5(C)		
角 屋 玲 那	1-5(K)		
黒 澤 一 輝	1-3(K)	将 棋 部	令和5年度関東信越地区高専体育大会 水泳競技 女子200m個人メドレー 優勝 第30回全国高等専門学校将棋大会 団体戦 優勝
櫻 井 花 梨	3C		
田 村 遥 斗	2-2(J)		
余 夏 輝	3J		
石 川 涼 人	4K	-	超小型衛星「KOSEN-2」開発プロジェクト 開発リーダー
齋 藤 創	2AP		

4. 卒業研究優秀賞

氏 名	学 科 名	研 究 題 目
石 渡 遥	機 械 工 学 科	溶融塩腐食におよぼす灰成分におけるNa/K比の影響
押 切 凱 男	電 子 メ デ ィ ア 工 学 科	幾何学的探究～折り紙版領域選択ゲームの考案～
山 本 空 澄	電 子 情 報 工 学 科	介助用パワーアシスト車いすにおける衝突回避のための認知アシスト手法
諸 田 実紗希	物 質 工 学 科	グルコマンナン自立膜の調製と物質透過性の評価
伊 藤 涼	環 境 都 市 工 学 科	土石流による立木折損のプロセス解明に向けた水路実験と評価手法についての検討

5. その他(学会からの表彰等)

氏 名	クラス	対 象 事 項
井 上 永 遠	5M	第66回自動制御連合講演会 優秀発表賞
古 崎 友 暉	5M	日本機械学会 畠山賞
小 林 和 人	5M	計測自動制御学会 SICE優秀学生賞
柳 原 知 佳	5M	設計工学会 武藤栄次賞優秀学生賞
伊 丹 柚 貴	5K	日本化学会関東支部 支部長賞
登 坂 光 優	5K	第9回関東信越地区化学技術フォーラム 優秀ポスター賞

氏 名	クラス	対 象 事 項
大 竹 志 弥	5C	全国高専土木工学会 近藤賞
齋 藤 創	2AP	国際会議SAMCON2022 IEEEJ Industry Applications Society Excellent Presentation Award (部門優秀論文発表賞)
瀬 谷 芽 斗	2AP	第32回環境工学総合シンポジウム 優秀講演論文表彰
森 川 結 菜	2AP	日本福祉工学会第26回学術講演会 優秀発表賞
齋 藤 輝	2AE	第60回環境工学研究フォーラム 優秀ポスター賞
大 山 涼太郎	2AE	日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会 学生ポスター賞

編集後記

広報委員長になって一年が経ちました。今年度は群馬県の高校入試制度が大きく変わる年でもあったためヒヤヒヤしていました。各所で広報してみても思ったのは、本校でどうしても学びたいという中学生が結構いるのだなということです。学校に期待する内容は人それぞれでしょうが、自分はそういった声・期待に答えることができているのだろうか？と自問自答した一年でした。自問自答するだけで終わらないようにしたいと思います。(広報委員長 高橋 徹)